R/DRシリーズ

USER'S GUIDE

ユーザーズガイド

◀画面で読むマニュアル▶

2

Contents

ご使用の前にユーザーズガイド1「安全上のご注意」(☞2ページ)を必ずお読みください。

本書の読みかた

本書で使用しているマークについて

本書では次のマークを使用しています。

マーク	説明
 警　告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷（※1）を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注　意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害（※2）を負う可能性が想定される内容および、物的損害（※3）のみの発生が想定される内容を示しています。
	操作してはいけないこと、または操作するときに注意するポイントを説明しています。
	補足説明や、知っておくと便利なポイントを説明しています。
☞ 参照ページ	機能の詳細を別のページで紹介、または説明していることを示します。必要に応じて参照してください。

※1：重傷とは、入院や長期の通院を要する恐れのある怪我などを指します。
※2：傷害とは、入院や長期の通院を要しない怪我などを指します。
※3：物的損害とは、本機の損害、および家屋・家財・ペットなどにかかわる二次的な損害を指します。

製品の表記について

■ イラストや画面表示に関して

本書中に出てくるホームページの内容およびURL、またはお問い合わせ番号は、本書制作時の情報であり、予告なしに変更される場合があります。

■ 機能の区別による表記

ワイヤレスLAN搭載モデル　ワイヤレスLAN（無線によるネットワークの接続が可能）の機能を搭載したモデル。

■ Windows® 7の表記について

本書では、Windows® 7 Home Premiumを、Windows 7またはWindowsと省略して表記しています。
Windows 7には、背景を透かして表示させるWindows Aeroという機能がありますが、本書ではこの機能をOFFにした画面で説明しています。

操作の表記について

■ メニューを選択する操作

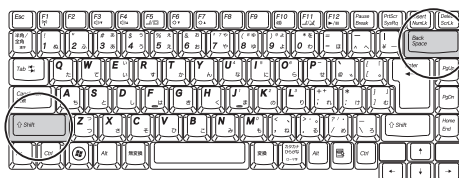
つぎつぎとメニューを選択していく操作を「→」を使って省略しています。
たとえば、スタートボタンから「ペイント」のプログラムまでを選択する動作を、

[スタート] ボタン→ [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [ペイント] を選択します。

と表記しています。

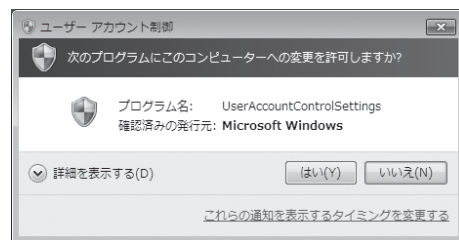
■ 複数のキーを同時に押す操作

何かのキーを押しながら、ほかのキーを押す動作を「＋」を使って省略しています。
たとえば、Shiftキーを押しながら、Deleteキーを押す動作を、

と表記しています。

■ ダイアログの表示を省略

Windows 7では、セキュリティー上の観点から、一部設定で操作の許可を求めるダイアログが表示されます。
本書では、これらダイアログの表示を省略して説明しています。
表示されるダイアログは、使用しているユーザーアカウントの権限やユーザーアカウント制御の設定によって異なります。ダイアログが表示された場合は、次のように操作してください。

・アカウントの種類が「管理者」の場合
　[はい] ボタンをクリックします。

・アカウントの種類が「標準ユーザー」の場合
　アカウントの一覧が表示されます。「管理者」のアカウントにパスワードを入力して、[OK] ボタンをクリックします。

ONKYO電子マニュアルについて

ONKYO電子マニュアルでは、本書で説明しきれないWindows 7の基本的な操作方法や、インターネットや電子メールの設定方法などを説明しています。必要に応じて参照してください。
ONKYO電子マニュアルはデスクトップ上のアイコンから簡単に起動できます。

起動

1. **デスクトップ上にある「ONKYO電子マニュアル」のアイコンをダブルクリックします。**
ONKYO電子マニュアルが起動します。

画面の構成

① 項目
ONKYO電子マニュアルの内容を、種類ごとにわけたメニューです。
クリックすると、項目ごとに本文見出しが表示されます。

② 本文見出し
項目ごとに用意された、見出しの一覧です。
クリックすると、本文見出しごとに小見出しが表示されます。

③ 小見出し
本文見出しごとに用意された、見出しの一覧です。
本文見出しによっては、小見出しがない場合があります。

操作方法

1. **項目をクリックします。**

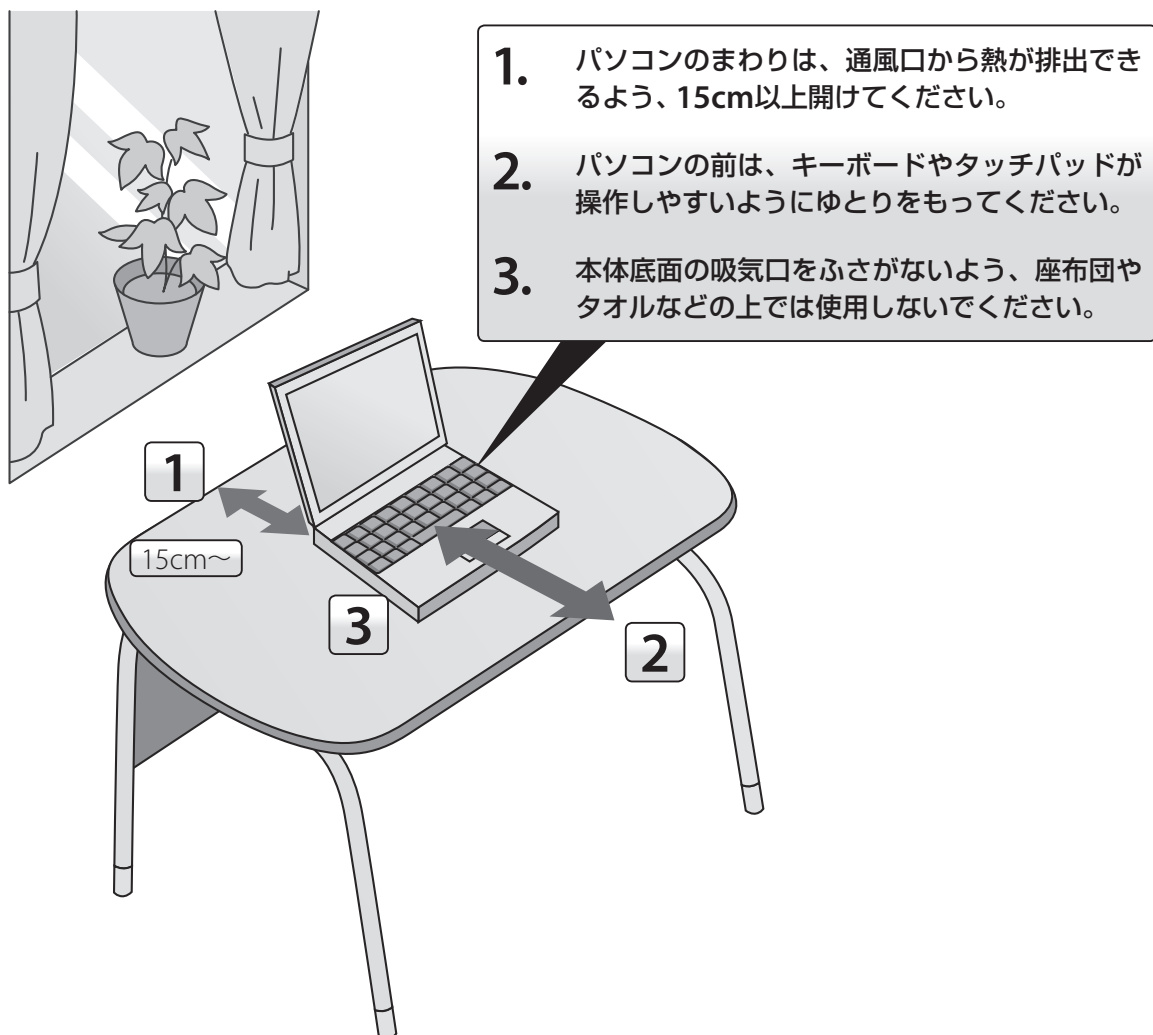
項目に対応した本文見出しが、画面左側に表示されます。

2. **本文見出しをクリックします。**

本文見出しに対応した本文が、画面右側に表示されます。

本文見出しによっては、小見出しのないものがあります。

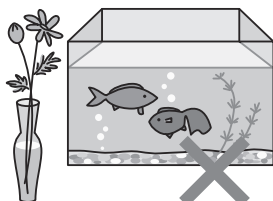
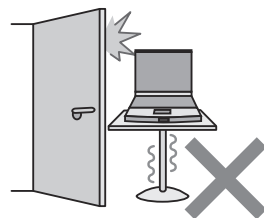
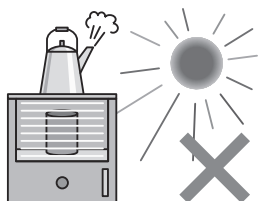
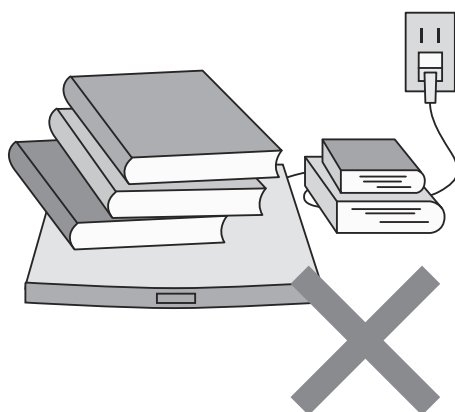
3. **小見出しをクリックします。**

小見出しに対応した本文が、画面右側に表示されます。

仕様と注意事項

・ONKYO電子マニュアルは、Windows 7に標準搭載のInternet Explorer 8.0で閲覧することを前提に制作しております。
・ONKYO電子マニュアルは、本製品以外での動作は保障いたしかねます。
・ONKYO電子マニュアルは、オンキヨー株式会社の著作物です。
・ONKYO電子マニュアルの内容は、予告なしに変更される場合があります。またONKYO電子マニュアルを運用した結果については、一切の責任を負わないものとします。
・ONKYO電子マニュアルで紹介されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに供給されています。
・ONKYO電子マニュアルは、著作権法によって保護されています。一部または全部を無断で複製、転載、改変、カスタマイズ、頒布することを禁じます。特にONKYO電子マニュアルを編集および改変してご利用になると、本製品の誤使用の原因となります。

置き場所について

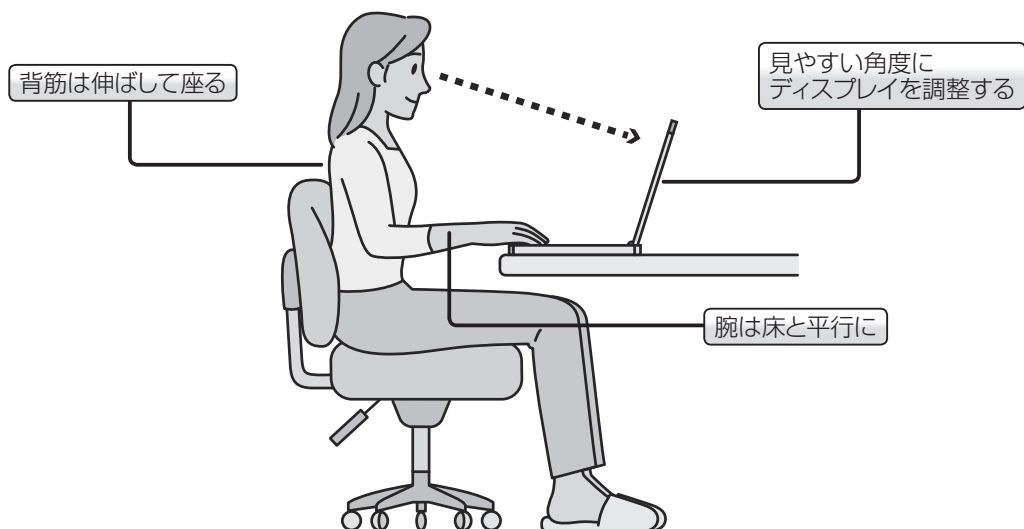
本機が手元に届いたら、まず、設置場所を決めてください。

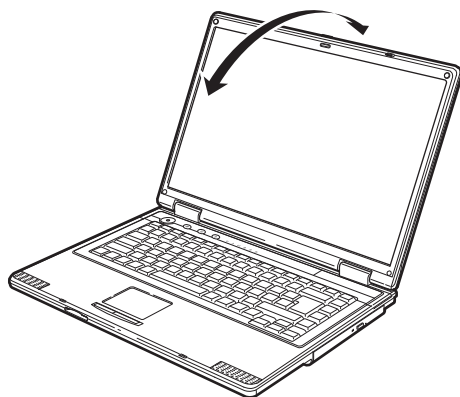
1. **パソコンのまわりは、通風口から熱が排出できるよう、15cm以上開けてください。**
2. **パソコンの前は、キーボードやタッチパッドが操作しやすいようにゆとりをもってください。**
3. **本体底面の吸気口をふさがないよう、座布団やタオルなどの上では使用しないでください。**

置いてはいけない場所

直射日光のあたる場所、ストーブなど熱源の近く

水がかかりそうな場所

不安定な場所、物がぶつかりそうな場所

■ 管理について

本体およびACアダプターのケーブルの上に重いものをのせたり、通風孔を塞いだりしないでください。

■ 正しい姿勢について

次のように正しい姿勢で、パソコンの前に座ってください。

■ ディスプレイの角度調整について

ディスプレイは、見やすい角度に調整できます。

電源のON/OFF

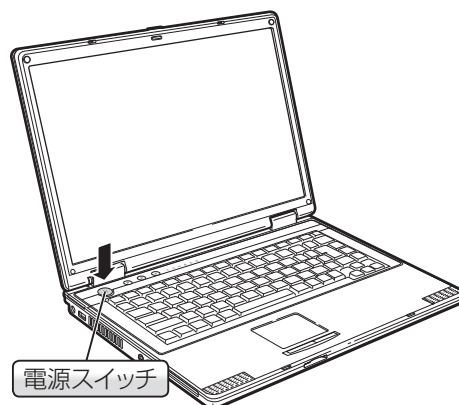
電源をON/OFFする方法を説明します。
電源をOFFにするときは、作業状況に応じて複数の終了方法が選択できます。

電源のON

本機の電源をONにします。Windowsのセットアップが終了すれば、次に電源をONにしたとき、そのままWindows 7のデスクトップ画面が表示されます。

1. **電源スイッチを押します。**

しばらくすると、Windows 7のデスクトップ画面が表示されます。
※表示されるデスクトップ画面は、ご購入いただいたパソコンによって異なります。

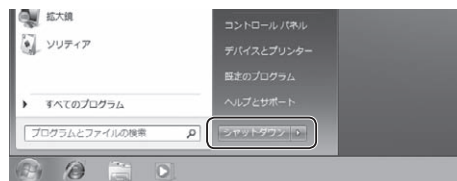
ユーザーアカウントにパスワードを設定している場合は、ログオン画面が表示されます。パスワードを入力して、をクリックします。

電源のOFF

電源をOFFにするには、「シャットダウン」をおこないます。また、いったん電源をOFFにし、自動的に電源をONにし直す「再起動」も選択できます。

■ シャットダウン

すべてのソフトウェアを終了させて電源をOFFにする場合は「シャットダウン」を選択します。

1. **[スタート] ボタン→ [シャットダウン] ボタンを選択します。**

シャットダウンの操作で終了せず、いきなり電源スイッチを押して電源をOFFにする動作を繰り返すと、Windows 7のシステムが壊れて、Windows 7の再セットアップが必要になることがあります。電源をOFFにするときは正しい手順で操作してください。

本機の電源が完全にOFFになります。
次回、電源をONにするときは、電源スイッチを押します。

■ スリープ

作業を中断して、本機の使用をすぐに再開できる「スリープ」機能があります。

1. **[スタート] ボタン→ [終了オプション] ボタンを選択します。**

「終了オプション」メニューが表示されます。

2. **[スリープ] を選択します。**

スリープ状態に入ります。
スリープ状態から元の状態に戻すには、電源スイッチを押します。

スリープとは？
スリープとは、直前の作業状態をメモリーとハードディスクに保存した状態で、Windowsを終了することです。Windows終了後はメモリーにだけ通電し続けます。
スリープの1番の利点は、起動時間の短縮です。スリープ状態から本機の電源スイッチを押すと、5秒程度でログオン画面が表示されます。

「終了オプション」メニューのその他の項目

「ユーザーの切り替え」：Windowsを終了せずに、別のユーザーアカウントに切り替えます。切り替え前の作業状態は保持されます。
「ログオフ」：Windowsを終了せずに、別のユーザーアカウントに切り替えます。切り替え前の作業状態は無効になります。
「ロック」：作業状態を保持したまま、Windowsを使用できない状態にします。一時的に離席するときなどに使用します。

ユーザーアカウントの作成方法については、ONKYO電子マニュアル（☞2ページ）を参照してください。

■ 再起動

デバイスドライバーのインストールが終了したあとや、Windowsの動作が不安定（画面が乱れたり、画面が動かない）になったときは、Windowsを再起動させます。
[スタート] ボタン→ [終了オプション] ボタンを選択し、[再起動] を選択すると、再起動が実行されます。

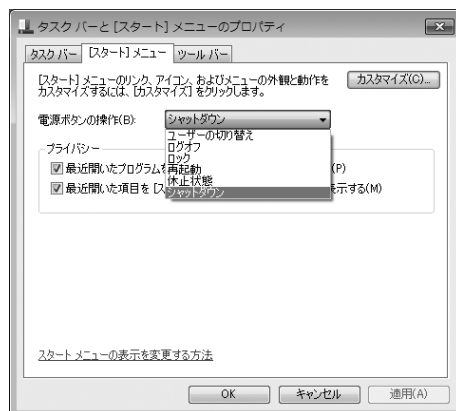
アプリケーションソフトの操作中に、マウスカーソルが動かなくなってしまったときなど、操作が続けられないときは、Ctrl＋Alt＋Deleteキーを同時に押して「タスクマネージャーの起動」を選択して、特定のアプリケーションソフトを終了させることができます。

「電源ボタン」の動作を変更する

[スタート] メニューの [電源] ボタンを、他の項目に変更することができます。
ここでは、動作を変更する手順について説明します。
初期設定ではシャットダウンに設定されています。

1. **[スタート] ボタンを右クリックして表示されるメニューから、[プロパティ] を選択します。**
【タスクバーと [スタート] メニューのプロパティ】が表示されます。

2. **「電源ボタンの操作」から、設定したい電源ボタンの動作を選択します。**

3. **[OK] ボタンをクリックします。**

ユーザーアカウントの切り替え

本機に複数のユーザーアカウントが登録されているとき、本機の電源をONにしたままで、ユーザーアカウントを切り替えることができます。

1. **[スタート] ボタン→ [終了オプション] ボタンを選択します。**

「終了オプション」メニューが表示されます。

2. **[ユーザーの切り替え] または [ログオフ] を選択します。**

[ユーザーの切り替え] を選択すると、現在のユーザーアカウントをログオンしたまま、ユーザーアカウントを切り替えることができます。
[ログオン] を選択すると、現在のユーザーアカウントをログオフします。

3. **本機の使用を開始するユーザーアカウントを選択します。**

・パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力します。
・パスワードが拒否された場合は、大文字と小文字を間違って入力していないか再度ご確認ください。Windows 7では、Tarouとtarouは違う文字列として判別されます。

しばらくすると、Windows 7のデスクトップ画面が表示されます。

※表示されるデスクトップ画面は、ご購入いただいたパソコンによって異なります。

ACアダプターの接続とバッテリーの充電

本機の電源は、付属のACアダプターを使ってACコンセントから電源をとる方法と、バッテリーパックを使う方法の2通りあります。

初めて使うときは

バッテリーは十分に充電されていない状態で出荷されています。本機を初めてお使いになるときは、バッテリーパックを本機に取り付けてから、ACアダプターを接続してください。バッテリーパックの充電が始まります。

- **弊社純正のACアダプター以外は、絶対に使用しないでください。火災・感電の恐れがあります。**
- **ACアダプターの上に物をのせたり、くるんだりしないでください。ACアダプターが発熱し、火災を起こす恐れがあります。**

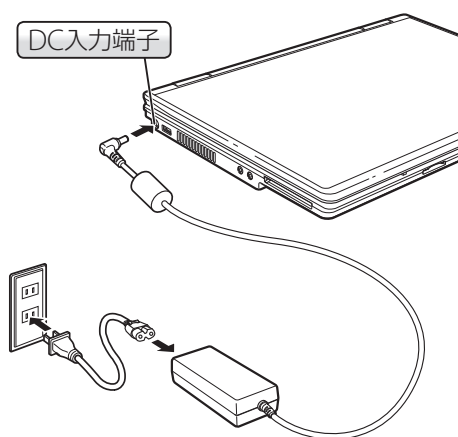
・バッテリーパックの充電中も本製品を使用できます。

ACアダプターの接続とバッテリーの充電

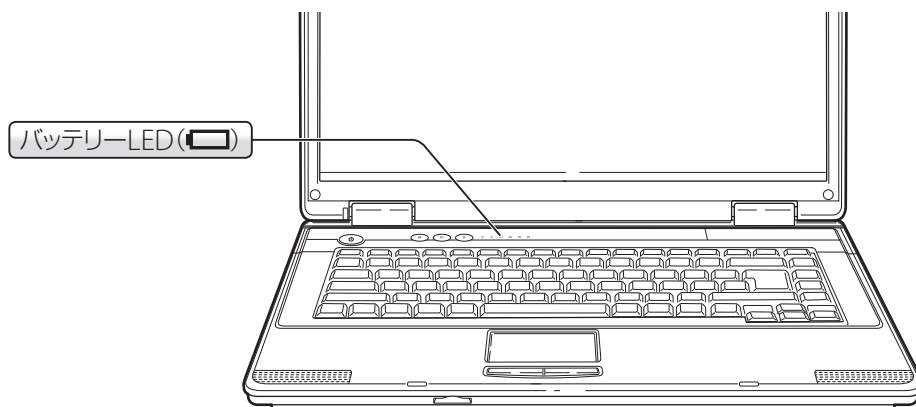
1. **ACアダプターのプラグを、本機のDC入力端子に差し込みます。**

2. **電源ケーブルをACアダプターと電源コンセントに接続します。**

バッテリーLED( ) が点灯し、バッテリーパックの充電が始まります。

本製品に付属のACアダプターは、100V～240Vに対応しており、自動的に切り替わりますので海外でも使用できます。
ただし、海外の電源コンセントは、日本と形状が異なる場合がありますので注意してください。

バッテリーのみで使用するときは、ACアダプターを取り外してください。
AC電源で使用するときは、このままACアダプターを接続してください。

バッテリーLEDの表示

本機のバッテリーの状態を、バッテリーLEDで確認できます。

バッテリーLED( )の状態

状　態	内　容
点灯	バッテリーが充電中の状態です。
点滅	バッテリーの残量が少ない状態です。
消灯	次のいずれかの状態です。 ・バッテリーで動作中 ・バッテリーが満充電 ・バッテリーが装着されていない

- **バッテリーパックは、バッテリー動作中に交換することはできません。**
  必ず「バッテリーパックの交換」（☞13ページ）の説明に従って交換してください。
- **バッテリーの残量が少ない状態でソフトウェアの操作を続けると、データーやソフトウェアが消えるなどの不具合が発生する恐れがあります。**
  バッテリーの残量がすべて無くなると、ソフトウェアの使用中でも電源がOFFになります。
  バッテリーの警告音が鳴ったらすぐにデーターを保存してください。

バッテリー残量低下時の終了動作の設定

バッテリー残量が低下したときや無くなったときに、パソコンをどのような状態で電源をOFFにするかを設定できます。

1. **[スタート]ボタン→[コントロールパネル]→[システムとセキュリティ]→[電源オプション]を選択します。**

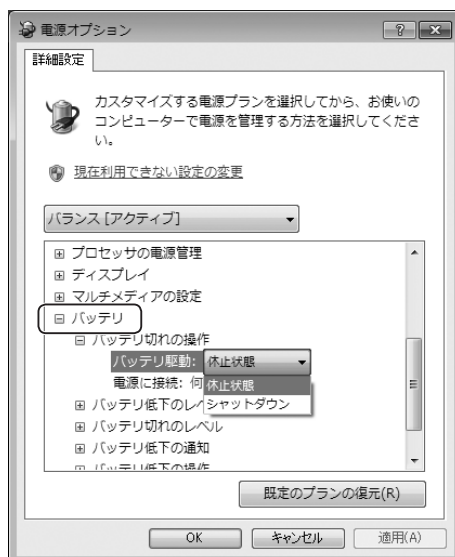
【電源オプション】ウィンドウが表示されます。

2. **「バランス」、「省電力」の項目から、いずれかチェックの入っている項目の「プラン設定の変更」を選択します。**

【プラン設定の編集】ウィンドウが表示されます。

3. **「詳細な電源設定の変更」を選択します。**

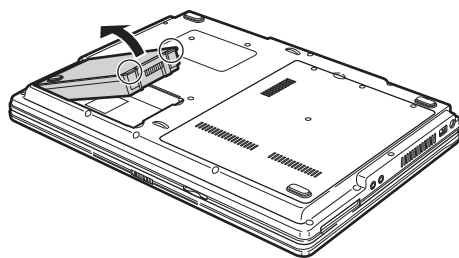
【電源オプション】ダイアログが表示されます。

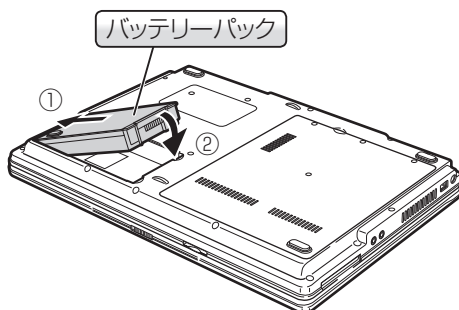
4. **詳細設定の一覧から「バッテリ」を選択し、バッテリー残量が低下したときや無くなったときに、どのような状態で電源をOFFにするかを設定します。**

バッテリーパックの交換

バッテリーパックは、電源がOFFの状態で交換します。交換前に、バッテリーLED(▭)が消灯していることを確かめてください。

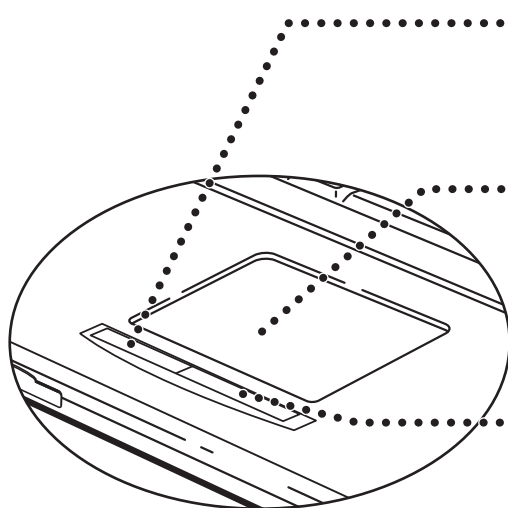
- 弊社純正のバッテリーパック以外のバッテリーは絶対に使用しないでください。また、バッテリーパックの分解や破壊、火中への投入、加熱、端子の短絡なども絶対におこなわないでください。爆発や火災を起こす恐れがあります。
- バッテリーパックの取り扱いについては「安全上のご注意」（☞ユーザーズガイド1）も必ずお読みください。
- スリープ状態でバッテリーパックの交換をおこなうと、データーが破損する恐れがあります。

1. ディスプレイカバーを閉じ、本体を裏返して、静かに置きます。

2. バッテリーパックのツメ2ヶ所を持ち上げて、バッテリーパックを取り外します。

3. 交換用のバッテリーパックを矢印の方向に動かしながら取り付けます。

・カチッと音がしてバッテリーパックがロックされるまで、確実にはめ込んでください。

タッチパッドの使用

本機では、文字の入力以外、ほとんどの操作をタッチパッドでおこないます。ここでは、タッチパッドの基本操作を説明します。

タッチパッドの名前とはたらき

左ボタン
左クリックするときに押します。ダブルクリックするときは、このボタンを素早く2回押します。

タッチパッド
指を触れて動かすと、画面上のマウスポインターがその動きに応じて動きます。指で軽く"トン"と1回たたくと左クリック、"トントン"とたたくとダブルクリックがボタンを使わずにできます。

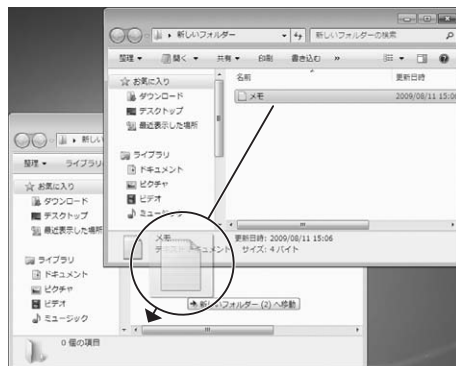
右ボタン
右クリックするときに押します。Windowsでは、右クリックするとショートカットメニューが表示されます。

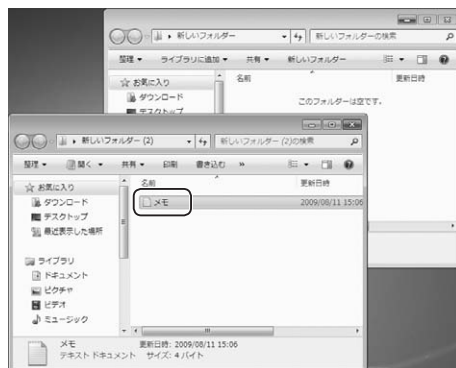
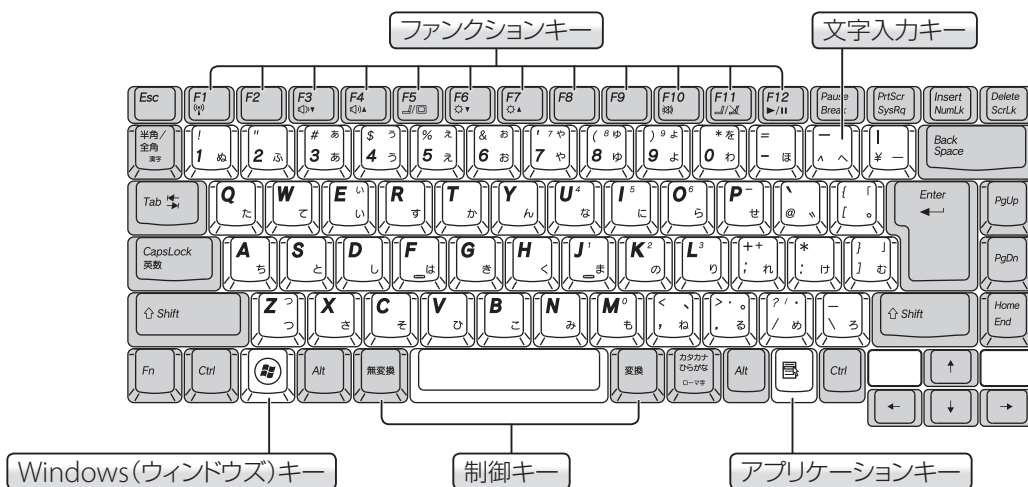
注意

- **タッチパッドをペン先などの先の尖ったもので触れないでください。故障の原因となります。**
- **2本以上の指や手袋をした指、また、濡れた指などで操作しないでください。正常に動作しません。また、指先の皮脂や汚れによっても正常に動作しない場合があります。そのときは、十分に汚れを取り除いてからご使用ください。**
- **マウスポインターはタッチパッドを軽く触れるだけで動作します。必要以上に力を入れたり無理な姿勢で操作すると、指や手首を傷める原因となります。**

ドラッグアンドドロップの操作

ファイルの移動（コピー）はドラッグアンドドロップという操作でおこないます。

1. **移動したいアイコンを選択し、左ボタンを押したまま、タッチパッドをなぞってアイコンを移動したい場所まで動かします（ドラッグします）。**

2. **タッチパッドのボタンを離します（ドロップします）。**

選択したファイルが移動（またはコピー）されます。

キーボードの使用

キーボードは、文字や記号を入力したりパソコンへ指示をする役目をもっています。ここでは、キーボードの各キーの名前や機能について説明します。

キーボードの各部の役割

キーはその機能によって、役割が大きく分かれます。
本書では便宜上、色分けをして説明しています。実際のキーボードは色分けされていません。

■ Windowsキー

単独で押すとWindowsの「スタート」メニューを表示します。次のキーと合わせて押すと、Windowsの代表となる機能がすぐに使えます。

[Windows]＋[F1]	Windowsの「Windowsのヘルプとサポート」を表示
[Windows]＋[M]	ウィンドウの最小化
[Windows]＋[T]	タスクバーに表示されているボタンの切り替え
[Windows]＋[R]	【ファイル名を指定して実行】ダイアログを表示
[Windows]＋[E]	【コンピューター】ウィンドウを起動
[Windows]＋[F]	ファイルとフォルダー検索画面を起動
[Windows]＋[Pause]	【コンピューターの基本的な情報の表示】画面を表示
[Windows]＋[Ctrl]＋[F]	コンピューターの検索画面を起動

Home Premiumモデルをご導入の場合、Windows Aero機能を使用すると、[Windows]＋[Tab]キーの操作で、Windowsフリップ3Dによるソフトウェアの切り替えができます。

■ アプリケーションキー

タッチパッドの右ボタンに相当します。使用するアプリケーションによって動作が異なります。お使いのアプリケーションソフトのマニュアルを参照してください。

■ 制御キー（灰色の部分）

文字入力キーと組み合わせて使うキー、入力位置を決めるキー、パソコンに対してコマンド（命令）を送るキーなどです。これらのキーだけを使って文字を直接入力することはできません。

■ 文字入力キー

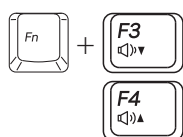
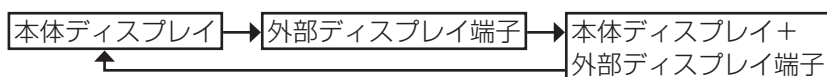
主に、アルファベットやひらがな、カタカナ、数字、記号などを入力するためのキーです。
1つのキーに2つ以上の文字が割り当てられており、CapsLock Shift NumLk ひらがな カタカナの各キーと組み合わせて、目的の文字が入力できます。

ファンクションキー

制御キーの一つであるFnキーとファンクションキーの組み合わせにより、画面の輝度を変えたり、省電力機能を作動させたりできます。

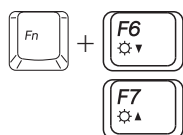
■ ワイヤレスLAN機能を実行する

Fnキーを押しながらF1キーを押すと、ワイヤレスLAN機能がONになります。（☞24〜27ページ）
もう一度押すとOFFに戻ります。

■ スピーカーの音量を調整する

Fnキーを押しながらF3キーを押すごとに音量が下がり、F4キーを押すごとに音量が上がります。（☞21ページ）

■ 本体ディスプレイ表示か外部ディスプレイ表示かを切り替える

Fnキーを押しながらF5キーを1回押すごとに、次の順で、映像の表示先が切り替わります。

■ 輝度を調整する

Fnキーを押しながらF6キーを押すごとに、ディスプレイの輝度が下がり、F7キーを押すごとにディスプレイの輝度が高くなります。

■ スピーカーの音を消す（ミュート）

Fnキーを押しながらF10キーを押すと、スピーカーの音が消えます。
もう一度Fnキーを押しながらF10キーを押すと元に戻ります。

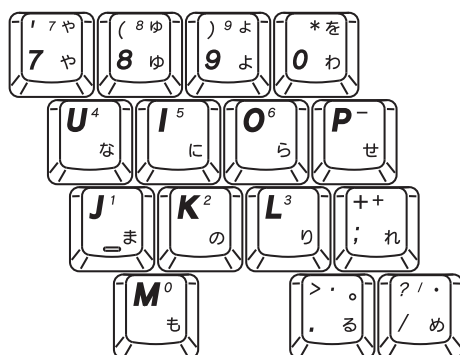
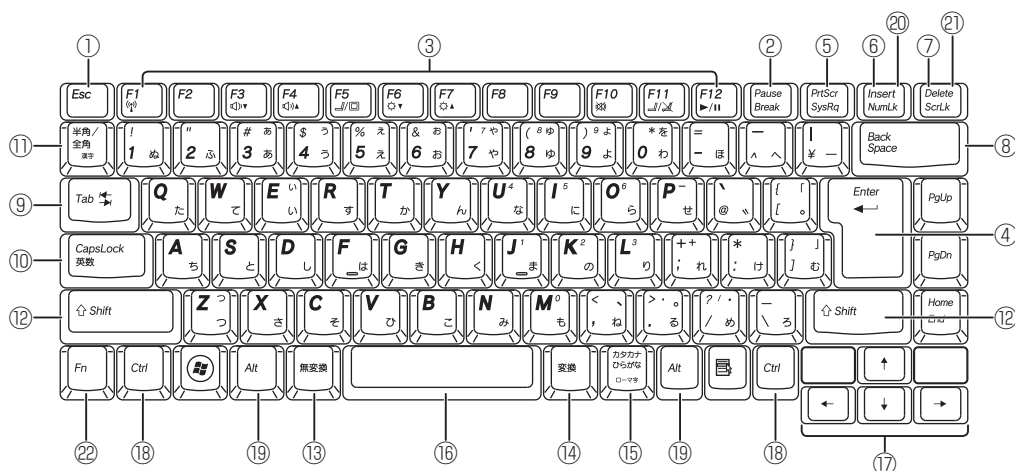
■ 液晶ディスプレイのバックライトをON/OFFする

Fnキーを押しながらF11キーを押すと、液晶ディスプレイのバックライトがOFFになります。もう一度押すとONに戻ります。

■ 音声/映像を再生する

Fnキーを押しながらF12キーを押すと、音声/映像ファイルが再生します。
再生中にFnキーを押しながらF12キーを押すと、音声/映像ファイルが一時停止します。

テンキーを使って数字を入力する

通常、数字は英数モードのときにファンクションキーの下に並んでいるキーで入力することができますが、Fn＋NumLkキーを押すことで、キーボードの図の部分でも数字を入力できるようになります。文字よりも数字の入力のほうが多いという場合などは、電卓のテンキーのように使うことができます。

各キーの機能

中止や中断させるコマンド(命令)を送る

① Esc(エスケープ)キー
設定を取り消したり、実行を中止します。

② Pause/Break(ポーズ/ブレーク)キー
ソフトウェアによっては動作が割り当てられており、実行されている命令を中断したり、ブレーク信号を送ります。

設定されている機能を呼び出す

③ ファンクションキー
F1からF12キーまでの12個のキーにそれぞれ別の機能やコマンド(命令)が割り付けられています。キーを押したときの動作はソフトウェアにより異なります。

コマンド(命令)や設定された機能を決定する

④ Enter(エンター)キー
あるコマンド(命令)の実行を決定したり、設定された機能を確定させせます。
文字を入力しているときは、このキーで改行できます。

■ 画面のハードコピーをとる

⑤ PrtSc（プリントスクリーン）キー
表示されている画面を取り込んでクリップボードに転送します。

■ 文字を編集する

⑥ Insert（インサート）キー【ロックされます】
文字入力のモードを切り替えます。1回押すごとに、カーソル位置にある文字の間に入れる「インサートモード」と、カーソル位置の文字に上書きする「オーバーライトモード」が切り替わります。

⑦ Delete（デリート）キー
カーソル位置から右側の文字を削除します。カーソル位置は変わりません。

⑧ Back space（バックスペース）キー
カーソル位置から、左側の文字を削除します。カーソル位置は左に動きます。

⑨ Tab（タブ）キー
文字を入力しているときに押すと、タブが入りカーソルが右に移動します。
表計算やデータベースなどのアプリケーションでは、次の項目への移動などに使われます。

■ 文字入力キーと組み合わせて、文字を入力する

⑩ Caps Lock（キャップスロック）・英数キー【ロックされます】
アルファベットを入力するときの文字種を切り替えます。Shiftキーと同時に1回押すごとに、「大文字モード」と「小文字モード」が切り替わります。
ひらがな/カタカナモードから、アルファベットや数字を入力する英数モードに切り替えるときにも使います。（☞20ページ「メモ」）

⑪ 半角/全角キー【ロックされます】
文字を入力しているときの文字種を切り替えます。Windowsの日本語入力システムMicrosoft IMEでは、1回押すごとに「日本語入力モード」がオン/オフになります。

⑫ Shift（シフト）キー
ほかのキーと同時に押して別の機能を実行したり、実行方法を変えたりすることができます。たとえば、「大文字モード」で文字を入力しているときに、アルファベットキーと同時に押すと、小文字で入力することができます。

■ 空白を入れたり、漢字に変換する

⑬ 無変換キー
日本語入力システムを使っているときに、入力した文字を漢字などに変換したくない場合に押すと、入力モードが変わります。

⑭ 変換キー
日本語入力システムを使っているときに、入力した文字を漢字などに変換します。

⑮ カタカナ/ひらがなキー【ロックされます】
「カタカナモード」と「ひらがなモード」を切り替えます。「カタカナモード」のときはこのキーだけ押すと「ひらがなモード」に、「ひらがなモード」のときはShiftキーと同時に押すと「カタカナモード」に切り替わります。
Ctrl＋Shiftキーと同時に押すと、カナキー入力のオン/オフを切り替えることができます。

⑯ スペースキー
文字を入力しているときに押すと、スペース（空白）が入ります。また、日本語入力システムを使っているときに、入力した文字を漢字などに変換します。

■ カーソルを動かす

⑰ カーソルキー
キーに表記されている矢印の方向に、カーソルが移動します。

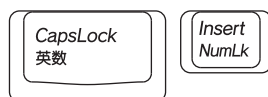
■ ほかのキーと組み合わせて機能を実行する

⑱ Ctrl（コントロール）キー
文字入力キーや、ほかの制御キーと組み合わせて使うと、特定の動作ができます。

⑲ Alt（オルト）キー
オルタネートキーともいい、文字入力キーや、他の制御キーと組み合わせて使うと、特定の動作ができます。

⑳ NumLk（ニューメリックロック）キー【ロックされます】
ロックすると、テンキーを数字を入力するための専用キーとして動作させます。
ロックを外すと、テンキーを特定の動作キーとして動作させます。（☞18ページ「テンキーを使って数字を入力する」）

㉑ ScrLk（スクロールロック）キー【ロックされます】
使用しているソフトウェアにより動作は異なりますが、通常はカーソルキーの動きを変えることができます。

キーには、1回押すごとに状態が固定されてロック状態になるキーと、固定されずに押したときだけ機能するキーの2通りがあります。
ロックされるキーの中でも下の2種類のキーは、ロック状態になるとキーボード上のステータスLEDが点灯します。

㉒ Fn（エフエヌ）キー
他のキーと組み合わせて、画面の輝度を変えたり、省電力機能を作動させたりできます。
（☞17ページ）

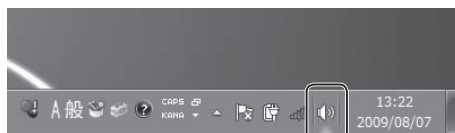
音量の調整

本機には、サウンド機能が搭載されており、音声を出力できます。ここでは、音声の音量を調整する方法を説明します。

Windowsから調整する

Windowsを使って、音量を調整します。

1. **デスクトップ画面右下のタスクバーにある［スピーカー］アイコンをクリックします。**

音声を調整する画面が表示されます。

2. **次の項目を設定します。**

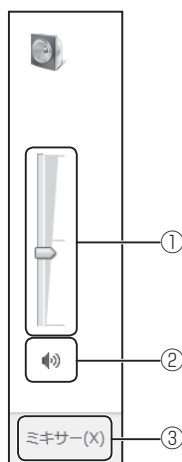
①音量

ドラッグして、音量を調整します。

②ミュート

音声のON/OFFを切り替えます。

③ミキサー

内蔵スピーカーおよび外付けスピーカー・ヘッドホンなどから出力される音声と、Windowsのシステムが出す音声を、個別に設定します。

キーボードから調整する

キーボードのファンクションキーを使って、音量を調整できます。
Fnキーを押しながらF3キーを押すごとに音量が下がり、F4キーを押すごとに音量が上がります。

表示画面の変更

壁紙やウィンドウのデザインなど、表示される画面のデザインを任意に変更することができます。ここでは、表示される画面のデザインを変更する方法について説明します。

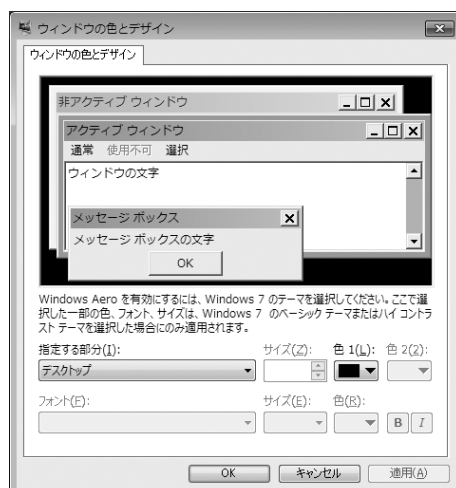
視覚効果と音の変更

壁紙やウィンドウ、効果音など、あらかじめWindowsに用意されたデザインに変更します。

1. **デスクトップ上で右クリックして表示されるメニューから、[個人設定] を選択します。**

【個人設定】ダイアログが表示されます。

2. **表示されるテーマの一覧から、設定したいテーマを選択します。**

選択したテーマにしたがい、デザインが変更されます。

壁紙の変更

【個人設定】ダイアログから［デスクトップの背景］を選択すると、デスクトップの背景（壁紙）を変更できます。
背景は、Windowsにあらかじめ用意されているものから選択したり、自分で用意した画像に変更することができます。

デザインの変更

【個人設定】ダイアログから［ウィンドウの色］を選択すると、ウィンドウのデザインを変更できます。
ウィンドウのパーツごとに、色やフォントを変更できます。

マウスポインターの変更

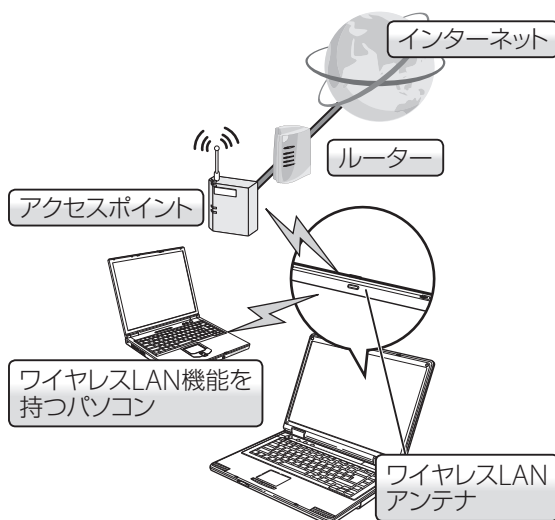
【個人設定】ダイアログから［マウスポインターの変更］を選択すると、マウスポインターの形状を変更できます。

解像度の変更

デスクトップ上で右クリックして表示されるメニューから、［画面の解像度］を選択すると、画面の解像度を変更できます。

ワイヤレスLANの使用 ワイヤレスLAN搭載モデルのみ

本機には、「IEEE802.11b/g/n」規格に準拠したワイヤレスLANモジュールが内蔵されており、他のパソコンと無線通信ができます。

ワイヤレスLANとは

ワイヤレスLANとは、LANケーブルを使わないで、無線通信でデーターをやり取りするLANのことです。「アクセスポイント」と呼ばれる別売の中継機器や、ワイヤレスLAN機能を持つ他のパソコンと無線通信でデーターをやり取りできます。

インターネットにも接続可能

市販のルーターにアクセスポイントを接続して、本機にケーブルを接続することなく、ワイヤレスLANでインターネットに接続できます。

・ワイヤレスLAN機能は、IEEE802.11b、IEEE802.11gおよびIEEE802.11n方式に準拠しています。それ以外の方式およびBluetooth方式対応の通信機器とは通信できません。
・電波障害によるノイズの発生など他の機器に影響を与える場合や、ワイヤレスLANの機能を使わないときは、ワイヤレスLAN機能をOFFにしてください。
・無線機器の使用が禁止されている区域では使用しないでください。

セキュリティーに関するご注意

ワイヤレスLANでは、電波で情報のやり取りをおこなうため、セキュリティーに関する設定をおこなっていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、次のような通信内容を盗み見られる可能性があります。
・IDやパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報
・メールの内容

不正に侵入される

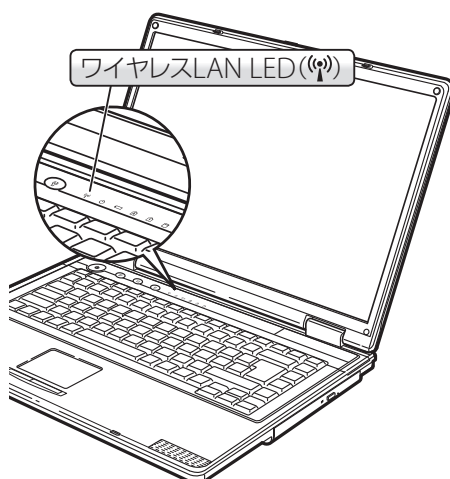
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、次のような行為をされてしまう可能性があります。
・個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
・傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
・コンピューターウィルスなどを流しデーターやシステムを破壊する（破壊）

セキュリティーの設定をおこなわないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティーに関する設定をおこない、ワイヤレスLANを使用してください。

ワイヤレスLANの仕様

ワイヤレスLANモジュールの仕様です。
※通信速度、通信距離は使用状況、電波環境、接続機器、使用のアプリケーションなどにより異なります。
※通信速度は規格による速度（理論値）であり、実際のデーター転送速度とは異なります。

規　格	IEEE802.11nドラフト準拠（2.4GHz/5GHz帯） IEEE802.11b/g準拠（2.4GHz帯）
最大通信速度	300Mbps（IEEE802.11nドラフト） 54Mbps（IEEE802.11g） 11Mbps（IEEE802.11b）

※通信中にレーダー波（気象レーダーなど）を検出した場合、チャンネルの自動変更のため通信が中断される場合があります。

ワイヤレスLANに接続する

■ 自動認識での設定

1. **Fn＋F1キーを押し、ワイヤレスLANの機能をONにします。**

ワイヤレスLANの機能が働くと、ワイヤレスLAN LEDが点灯します。

接続可能なワイヤレスLANが検出されると、タスクバーにメッセージが表示されます。

2. **通知領域に表示された［ワイヤレスネットワーク］アイコンをクリックします。**

ネットワークの一覧が表示されます。

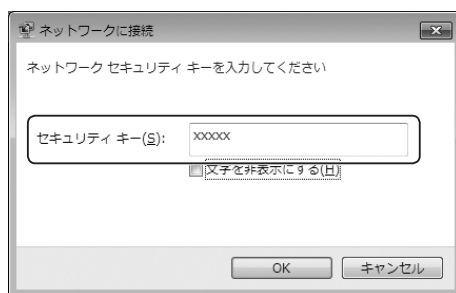
3. **ネットワークの一覧から、使用するワイヤレスネットワーク（アクセスポイント）を選択して、［接続］ボタンをクリックします。**

セキュリティキーを設定している場合、【ネットワークに接続】ダイアログが表示されます。

・セキュリティキーを設定していない場合は、そのままワイヤレスLANに接続されます。
・一覧に接続可能なネットワーク（アクセスポイント）が表示されない場合はをクリックします。

4. **「セキュリティキー」を入力して、[OK] ボタンをクリックします。**

本機がワイヤレスLANに接続されます。

別途、ネットワーク設定が必要な場合があります。

■ 手動での設定

1. **「自動認識での設定」(☞25ページ)の手順1〜2を実行します。**

ネットワークの一覧が表示されます。

2. **「ネットワークと共有センターを開く」をクリックします。**

【ネットワークと共有センター】ウィンドウが表示されます。

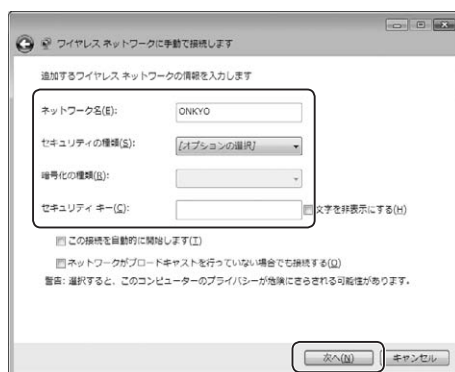
3. **「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリックします。**

【接続またはネットワークのセットアップ】ダイアログが表示されます。

4. **「接続オプションを選択します」の一覧から「ワイヤレスネットワークに手動で接続します」を選択して、[次へ] ボタンをクリックします。**

【ワイヤレスネットワークに手動で接続します】ウィンドウが表示されます。

5. **「ネットワーク名」、「セキュリティの種類」、「暗号化の種類」、「セキュリティキー」を設定して、[次へ] ボタンをクリックします。**

ネットワークの一覧が表示されます。

6. **「自動認識での設定」（☞25ページ）の手順3～4を実行します。**

別途、ネットワーク設定が必要な場合があります。

■ ワイヤレスLAN接続を終了する

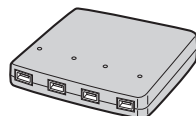
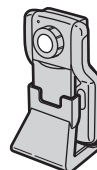
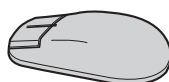
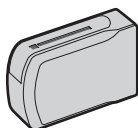
Fn＋F1キーを押し、ワイヤレスLANの機能をOFFにします。
本機がワイヤレスLANから切断され、ワイヤレスLAN LEDが消灯します。

周辺機器の接続

本機には、さまざまな周辺機器が接続できます。

うしろ

USBポート

USB2.0対応の周辺機器（☞33ページ）

・カードリーダー/ライター　・USB対応マウス　・CCDカメラ　・USBハブ　など

外部ディスプレイ端子

外部ディスプレイ（☞43ページ）

ひだり/まえ

ExpressCardスロット

ExpressCard（☞37〜38ページ）

・コンパクトフラッシュ（カードアダプターが必要）
・フラッシュメモリーカード
・メモリースティック
・SDカード
など
（カードアダプターが必要）

USBポート

USB2.0対応の周辺機器
（☞33ページ）

オーディオ出力端子

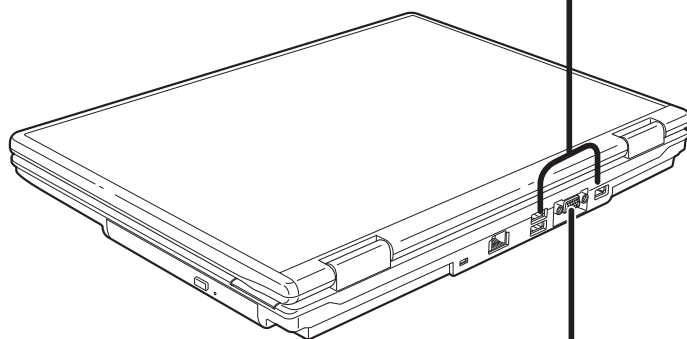
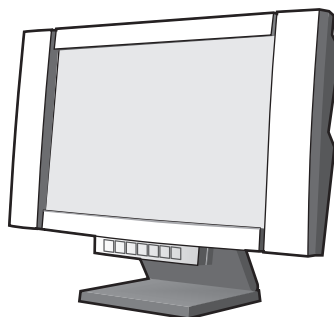
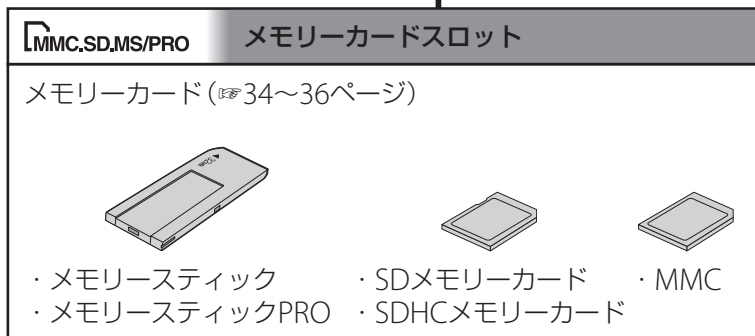
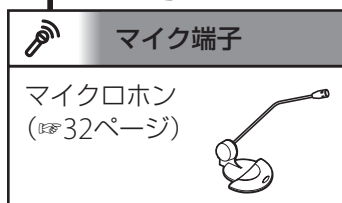
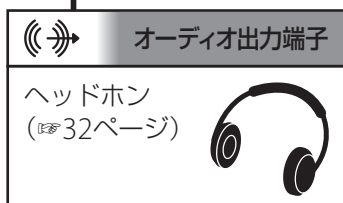
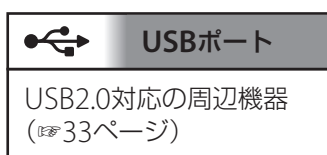
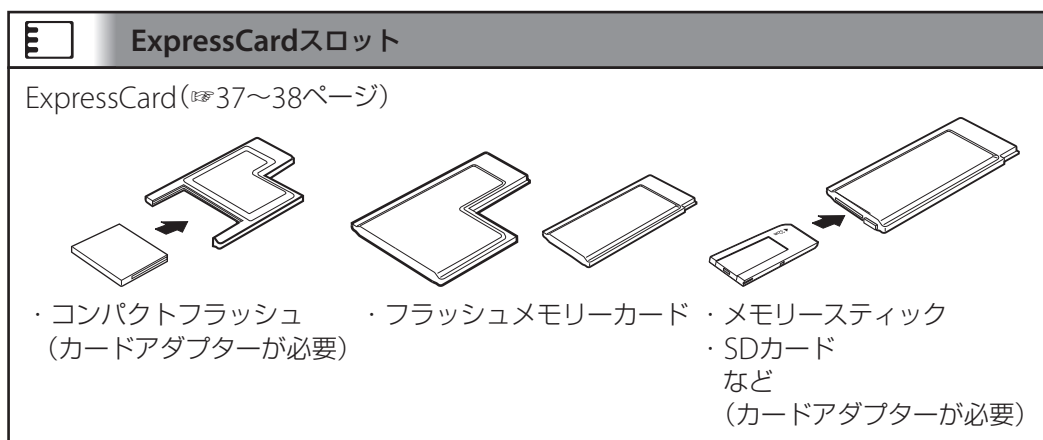
ヘッドホン
（☞32ページ）

マイク端子

マイクロホン
（☞32ページ）

MMC.SD.MS/PRO **メモリーカードスロット**

メモリーカード（☞34〜36ページ）

・メモリースティック
・メモリースティックPRO
・SDメモリーカード
・SDHCメモリーカード
・MMC

周辺機器を使用するには

周辺機器を取り付ける前に、まず確認したり、周辺機器を作業しなければならないことを説明します。

電源をOFFにする

ケーブル類や、周辺機器を取り付けるときは、本機の電源をOFFにし、ACアダプターをACコンセントから取り外します。ACアダプターが接続されたまま周辺機器を取り付けると、本機を壊したり、感電する恐れがあります。

・次の機器は、パソコンの電源をONにしたまま、取り付けや取り外しができます。
- ・USB対応の機器
- ・メモリースティック
- ・メモリースティックPRO
- ・ExpressCard対応の機器
- ・SDメモリーカード
- ・SDHCメモリーカード
- ・MMC

1. **本機の電源をOFFにします。**

「電源のOFF」（☞6ページ）

2. **本機の電源ケーブルを、コンセントから取り外します。**

3. **周辺機器を取り付けます。**

本体内部の機器を取り付けたり、取り外したりするときは、金属のへりでけがをしないよう、手袋をして作業をするなど十分に気を付けてください。

取り付け時の注意事項

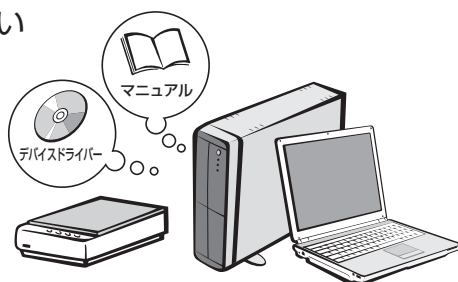
■ 体の静電気を取り除いてください

基板がむき出しになっているメモリーなどは、静電気に弱く、帯電した手で触ると壊れてしまう恐れがあります。ドアのノブなど、身近な金属に触れて、体に帯電している静電気を取り除いてから、これらの機器を取り付けてください。

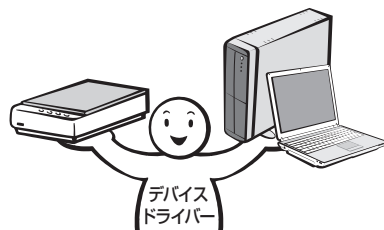
■ ユーザーズガイドをよく読んでください

周辺機器などは、取り外しや取り付けを間違うと、機器を壊してしまう恐れがあります。
本書をよく読んでから、周辺機器を取り付けてください。

■ 周辺機器に付属のマニュアルをよく読んでください

周辺機器に付属のマニュアルには、取り付け方法や、取り付けたあとに必要となるソフトウェアやハードウェアの設定方法が詳しく書かれています。
周辺機器のマニュアルをよく読み、必要な機器、および必要な設定ファイル（デバイスドライバーなど）を理解し、これから始める接続作業に備えてから、周辺機器を取り付けてください。

プラグアンドプレイについて

Windowsには、周辺機器を取り付けるだけで、すぐに使用できる状態に設定する「プラグアンドプレイ」という機能があります。プラグアンドプレイを実現するには、周辺機器に対応したデバイスドライバーがWindows側で用意されている必要があります。
用意されていない場合は、Windowsのウィザード機能を使って、デバイスドライバーをWindowsにインストールします。

周辺機器を使うときは、「デバイスドライバー」と呼ばれる周辺機器をコントロールするソフトウェアが必要です。
デバイスドライバーは、あらかじめ本機のWindows側で用意されている場合と、周辺機器に付属している場合（CD-ROMディスクなどで提供されています）があります。周辺機器メーカーのホームページから入手することもできます。

■ デバイスドライバーがWindowsにある場合

周辺機器に対応したデバイスドライバーが、すでにWindows側で用意されている場合は、周辺機器を取り付けるだけで、すぐに使える状態になります。

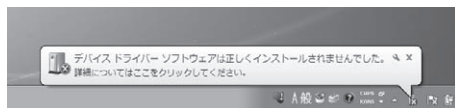
1. **周辺機器を取り付けたあとに、電源をONにします。**

デスクトップ画面右下のタスクバーに、「デバイスを使用する準備ができました」と吹き出しが表示されます。
これで、周辺機器が使えるようになります。

プラグアンドプレイに対応した周辺機器でも、設定が自動でおこなわれない場合があります。

■ デバイスドライバーがWindowsにない場合

周辺機器を取り付けたあとに電源をONにすると、デスクトップ画面右下のタスクバーに、デバイスドライバーのインストールが失敗したことをあらわす吹き出しが表示されます。

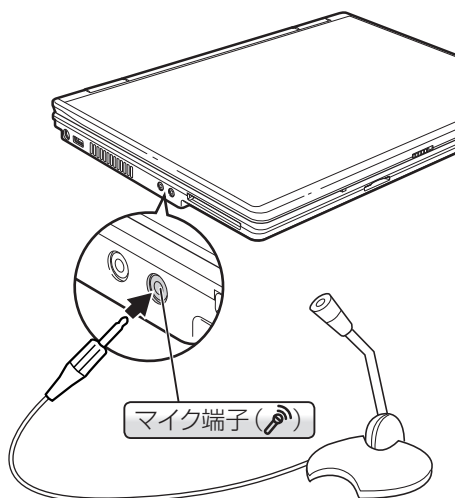
周辺機器に付属のマニュアルをお読みのうえ、デバイスドライバーをインストールしてください。
通常、デバイスドライバーは次の方法で配布されています。
・周辺機器に付属のCDに収録
・周辺機器の製造元がWebサイトで公開

プラグアンドプレイに対応していない周辺機器の場合、デバイスドライバーの組み込みや、リソースの設定を自分でおこなう必要があります。また、周辺機器側のディップスイッチなどを変更する必要があります。
詳細は、お使いの周辺機器メーカーへお問い合わせください。

AV機器との接続

本製品と接続できるAV機器の紹介と接続方法を説明します。

マイクロホンと接続する

市販のマイクロホンのプラグを、本機のマイク端子（🎤）に接続すると、マイクロホンから音声を録音できます。

・マイクロホンをご利用の場合は、初期設定のミュートを解除してからご利用ください。
・マイクロホンはステレオタイプのミニピンプラグ付きマイクロホンを、電器店などでお求めください。
・スピーカーにマイクロホンを近づけると、スピーカーとマイクロホンが共振し、キーンという音が出ることがあります。これを「ハウリング」と呼びます。ハウリングは、マイクロホンをスピーカーから遠ざけるか、入力レベルを小さくする（ボリュームコントロールで調整）ことで防ぐことができます。

ヘッドホンと接続する

市販のヘッドホンのプラグを、本機のオーディオ出力端子（🔊）に接続すると、スピーカーから音声を出力せずに、ヘッドホンから出力できます。

ヘッドホンはミニピンプラグ付きヘッドホンを、電器店などでお求めください。

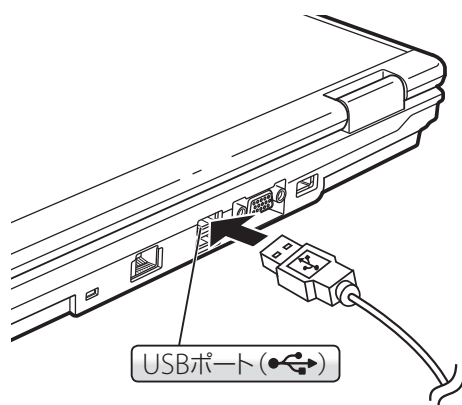
USB対応機器の使用

USBポートには、さまざまなUSB機器を接続して利用することができます。ここでは、本機の電源をONにした状態で、USB対応の周辺機器を接続する方法について説明します。

接続時の注意事項

・接続前に、デバイスドライバーのインストールが必要なUSB機器があります。
・ケーブルには差し込む向きがあります。無理に差し込もうとしないで、方向を確認して正しく差し込んでください。
・本機には、複数のUSBポートを用意しています。どのUSBポートを使用しても問題ありません。
・USBポートの数が足りないときは、市販のUSBハブを接続して、USBポートの数を増やすことができます。

1. **本機のUSBポート（ ）に、USB機器のケーブルを差し込みます。**

しばらく待つと、デスクトップ画面右下のタスクバーに、「デバイスを使用する準備ができました」と吹き出しが表示されます。これで、USB機器が使えるようになります。
接続したUSB機器によっては、このあと、ソフトウェアのインストールなどの作業が必要になります。

・表示されないときは、USBポートからコネクターを一度抜き、3秒以上時間をおいてから、再度差し込んでみてください。
・USB機器に、Windows 7対応のデバイスドライバーが付属されていない場合、USB機器をWindows 7で使うための専用デバイスドライバーが別途必要になります。
・次回からはUSBポートに接続するだけで、すぐに使用できます。
・異なるUSBポートにUSB機器を接続すると、【新しいハードウェアの検索ウィザード】が表示される場合があります。その場合は、設定を再度おこなってください。

メモリーカードの使用

本機にはメモリーカードを読み書きするスロットがあります。

使用できるメモリーカード

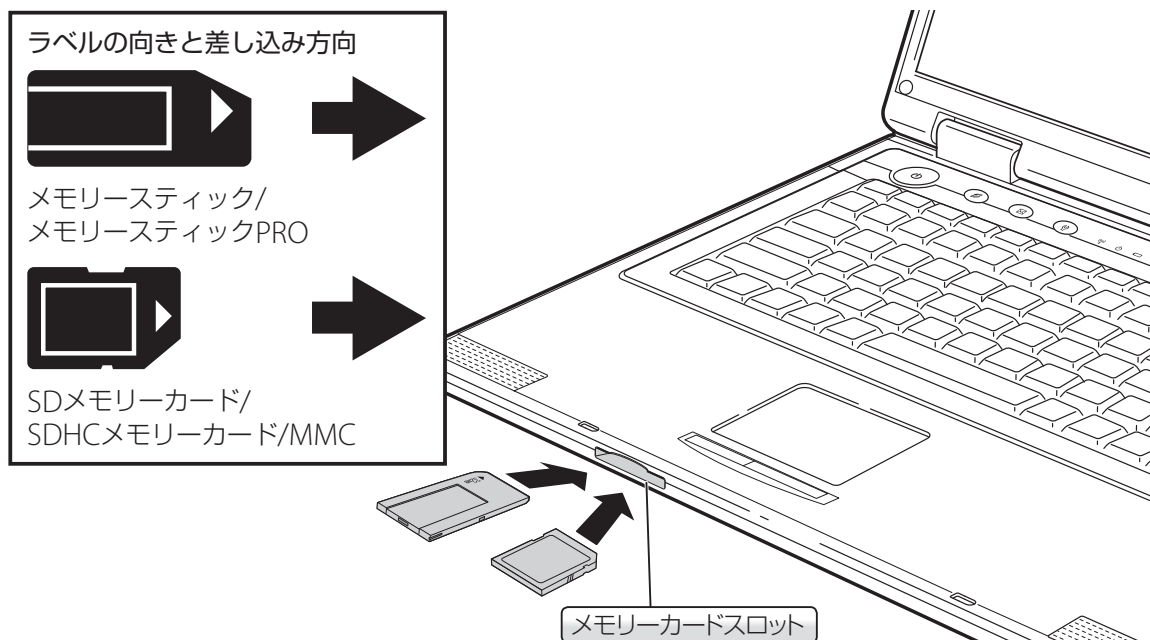
本機で使用できるメモリーカードの種類と機能は、次のとおりです。メモリーカードを使用すると、画像ファイルなどのファイルデーターの読み出し・書き込みができます。

使用できるメモリーカード	著作権保護機能	誤消去防止スイッチ
SDメモリーカード	あり	あり
SDHCメモリーカード	あり	あり
MMC	なし	なし
メモリースティック	あり	あり
メモリースティックPRO	あり	あり

（本書作成時点の情報です）

マジックゲートメモリースティックに著作権保護（暗号化）を施して記録された音声ファイルは、本機のメモリーカードスロットでは再生できません。

メモリーカードの差し込み方向

各種メモリーカードの差し込み方向は、次のとおりです。
各種メモリーカードのラベルの向きや切り欠きの位置を確認して、正しく差し込んでください。

メモリーカードの差し込み

メモリーカードを差し込み、使用するまでの手順を説明します。

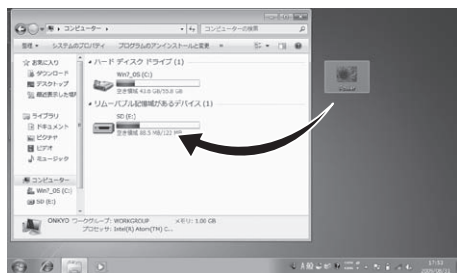
ここでは、メモリーカードに「MEMORY CARD」という名前（ボリュームラベル）が付いていることを前提に、手順を説明します。

1. **差し込む向きを確認して、本機のメモリーカードスロットにメモリーカードを確実に差し込みます。**

しばらくするとメモリーカードが本機に認識され、ダイアログが表示されます。

- メモリーカードには、それぞれ差し込む向きがあります。方向を確認して、正しく差し込んでください。
- 「miniSDカード」または「メモリースティックデュオ」など、表に記載のない種類のカードは、本機で使用できません。メモリーカードを本機に挿入する前に、種類を確認してください。

2. **実行させたい動作をクリックします。**

表示されるダイアログは、メモリーカードに入っているファイルによって異なります。

これらの動作を実行させたくない場合は、ダイアログを閉じます。

■ ファイルをコピーする

正しく認識されたメモリーカードのアイコンに、ほかのディスクからファイルをドラッグアンドドロップすると、メモリーカードにデーターをコピーできます。

■ 誤消去防止スイッチについて

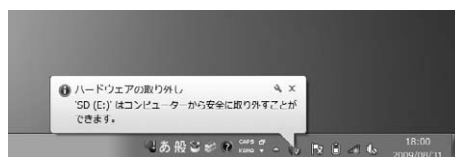
SDメモリーカードの側面、およびメモリースティックの背面には、誤消去防止スイッチがあります。スイッチを「LOCK」に合わせると、データーを誤って消去することを防止できます。

メモリーカードの取り出し

メモリーカードの取り外しの手順は次のとおりです。

1. **メモリーカードの動作が終了していること（データーの読み書きがおこなわれていない状態）を確認し、［スタート］ボタン→［コンピューター］を開き、メモリーカードドライブを右クリックして表示されるメニューから、［取り出し］を選択します。**

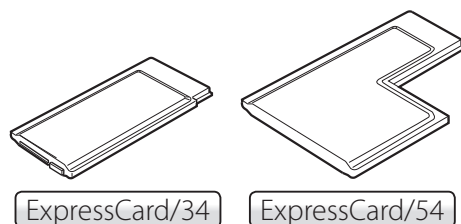
メモリーカードドライブのアイコンが消えます。

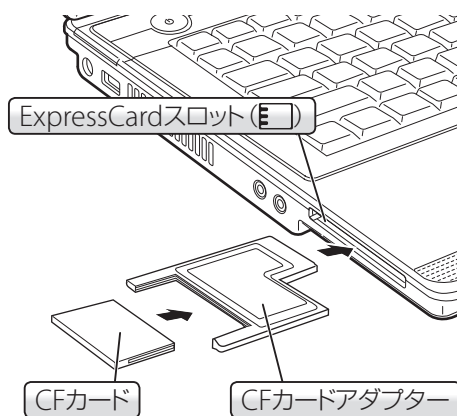
2. **メモリーカードドライブのアイコンが消え、「コンピューターから安全に取り外すことができます。」というポップアップメッセージが表示されたことを確認した後、メモリーカードを取り出します。**

各種メモリーカードをWindows上で使用している間は、メモリーカードを取り出さないでください。メモリースロットの故障や、データーが破損する恐れがあります。

ExpressCardの使用

ExpressCardスロットには、市販のExpressCardを差し込んで使用することができます。ここではExpressCardの接続方法について説明します。
PCカード（CardBus）は使用できません。

ExpressCardの種類

ExpressCardには、幅が34mmの「ExpressCard/34」と、幅が54mmの「ExpressCard/54」の2種類の規格があります。本機は、どちらの規格にも対応しています。

ExpressCardの差し込み

ここでは、デジタルカメラの画像の記憶媒体として使用されるコンパクトフラッシュを例に、本機に差し込んで使用するまでの手順を説明します。

1. **本機のExpressCardスロット（ ）に、ExpressCardを差し込みます。**

ここでは、コンパクトフラッシュアダプターに差し込んだコンパクトフラッシュをExpressCardと呼びます。

しばらくすると、自動的に認識されます。

- ExpressCardは差し込む向きがあります。無理に差し込もうとせず、方向を確認して正しく差し込んでください。
  差し込む方向については、ExpressCardに付属の取扱説明書を参照してください。
- ExpressCardを差し込む際は、スロットに対し平行に差し込んでください。無理な角度で差し込むと、スロットが機能しなくなることがあります。

2. **実行させたい動作をクリックします。**

ExpressCardによっては、接続後、さらに別の設定をおこなうものがあります。ExpressCardに付属の取扱説明書を参照してください。

これらの動作を実行させたくない場合は、ダイアログを閉じます。

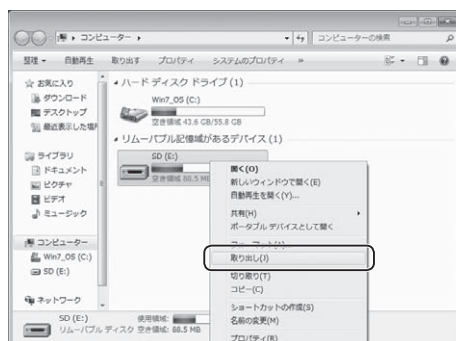
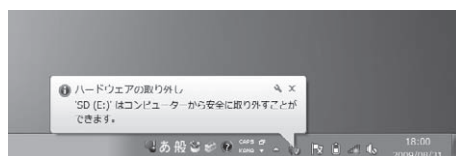
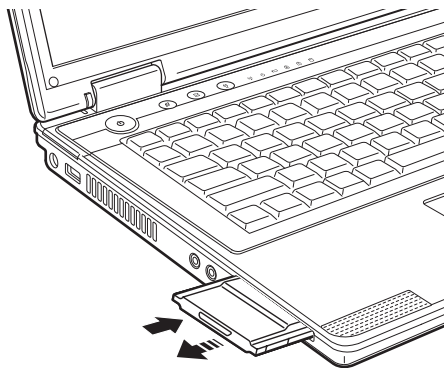
使用する
周辺機器を使用する
トラブルの対応

ExpressCardの取り出し

ExpressCard へのアクセス中に、本機からExpressCardを取り出すと、コンパクトフラッシュなどに記録されているデーターが壊れる場合があります。
取り外しは必ず次の手順でおこなってください。

電源がスリープ状態または休止状態でExpressCardを取り出すと、本機が正常に動作しない恐れがあります。
ExpressCardの取り出しは、スリープ状態または休止状態から元の状態に戻して（電源をON）から、必ず次の手順で取り出してください。

1. **ExpressCardの動作が終了していること（データの読み書きがおこなわれていない状態）を確認し、［スタート］ボタン→［コンピューター］を開き、ExpressCardドライブを右クリックして表示されるメニューから、［取り出し］を選択します。**

ExpressCardドライブのアイコンが消えます。

2. **ExpressCardドライブのアイコンが消え、「コンピュータから安全に取り外すことができます。」というポップアップメッセージが表示されたことを確認した後、ExpressCardを取り出します。**

注　意

ExpressCardをWindows上で使用している間は、ExpressCardを取り出さないでください。ExpressCardスロットの故障や、データーが破損する恐れがあります。

3. **ExpressCardを押し込みます。**

ExpressCardがExpressCardスロットから少し出てきます。

ExpressCard/34は、スロットに対して幅が狭いため、スロットの端に寄って差し込まれます。取り出すときにカードの端を押すと、取り出せない場合があります。
取り出すときは、カードの中央を押してください。

4. **ExpressCardをゆっくりと引き抜きます。**

メモリーの増設

複数のアプリケーションソフトを使っているときなどに、処理速度が遅いと感じるようになってきたら、メモリーを増やしてみましょう。ここでは、メモリーについての基本的な知識と、メモリーの増設方法について説明します。

メモリーについて

メモリーは、作業をするときの「作業机」のようなものです。机の上が広いと作業がしやすいように、メモリーの総容量が大きいとアプリケーションソフトの動作も快適になります。

メモリー増設/交換作業の流れ

●本機の電源OFF
●バッテリーパック・ACアダプターの取り外し

●メモリーの交換（☞41ページ）

●交換したメモリーの確認（☞41～42ページ）

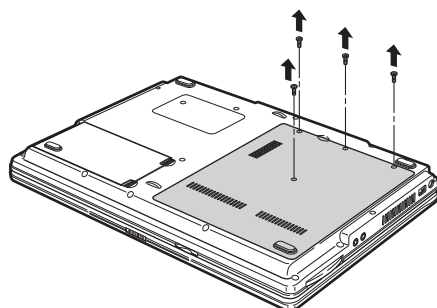
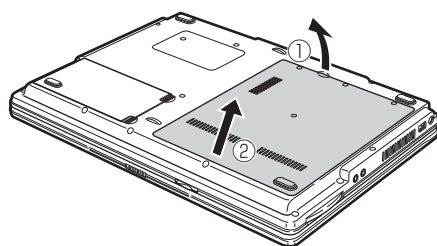
メモリーを取り扱うときに気をつけること

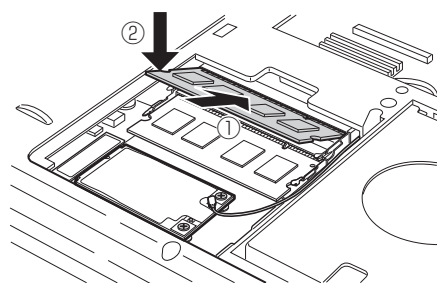
- **装着の前には、必ず本機の電源をOFF（シャットダウン）にしてください。**
- **装着の前には、必ずバッテリーパックとACアダプターを取り外してください。**
- **メモリーは静電気にたいへん弱い部品です。静電気を帯びた物や人の手でメモリーに触れると、メモリーが壊れる恐れがあります。メモリーを取り扱うときは、体の静電気を取り除いてください。（☞30ページ）**
- **メモリーの端子部には触れないでください。端子部分に手を触れると、接触不良によりメモリーが壊れる恐れがあります。**
- **メモリーはたいへん壊れやすい部品です。取り外したメモリーは大切に保管してください。**

メモリーの増設

メモリースロットは上下2段になっていて、最大2枚のメモリーを差し込むことが出来ます。メモリーを2枚使用する場合は、下段のスロットから差し込んでください。

1. **ディスプレイカバーを閉じ、本体を裏返しにします。**

2. **メモリーモジュールカバーを固定しているネジを取り外します。**

3. **メモリーモジュールカバーのミゾに指をかけてメモリーモジュールカバーを開き（①）、少し手前に引いて取り外します（②）。**

4. **新しいメモリーをメモリースロットのコネクター部へ差し込み（①）、メモリーのコネクターに差し込まれていない部分を「カチッ」と音がするまで下に押し込みます（②）。**

5. **メモリーモジュールカバーを取り付け、ネジで固定します。**

メモリーモジュールカバーを取り付けるときは、カバー右側面にあるツメを壊さないように注意して取り付けてください。

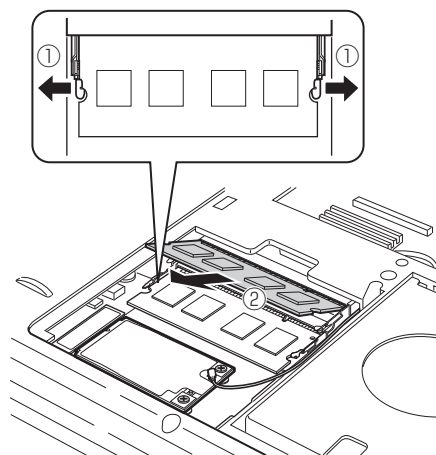
6. **バッテリーパックを装着し、ACアダプターを接続します。**

メモリーの交換

1. **「メモリーの増設」(☞40ページ)の手順1〜3をおこないます。**

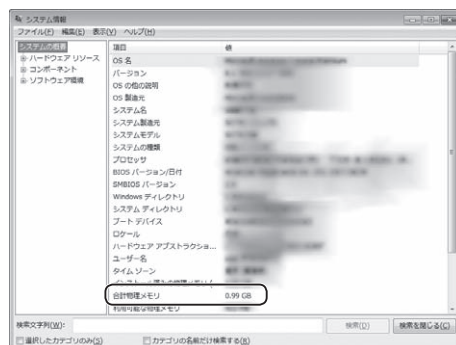
2. **メモリーを固定しているフックを開いて(①)、メモリースロットからメモリーを取り外します(②)。**

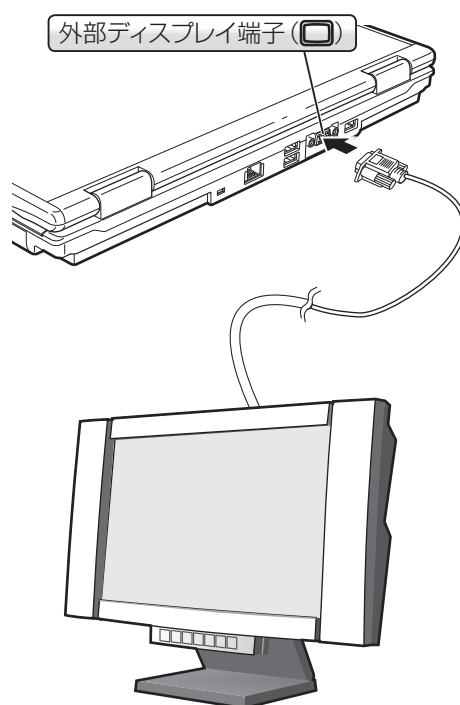
3. **「メモリーの増設」(☞40ページ)の手順4〜6をおこないます。**

・メモリーの向きを間違えないようにしてください。
・メモリー下部の切り欠きがメモリースロットの凸部に合うようにしてください。

増やしたメモリーを確認する

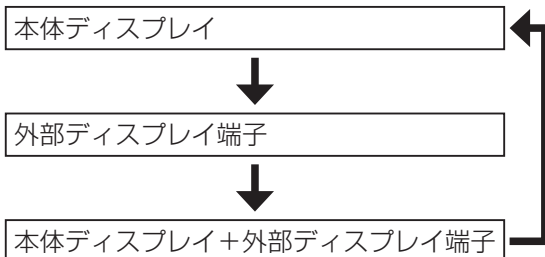
電源をONにして、メモリーが増えているか確認しましょう。

1. **本機の電源をONにします。**

2. **[スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システムツール]→[システム情報]を選択します。**

【システム情報】ウィンドウが表示されます。ウィンドウの表示後しばらくすると、システム情報の各項目が表示されます。

3. **ここに表示されている数値を確認します。**

表示されたメモリーの数値が増えていない場合は、メモリーが正しく取り付けられているか、また、このパソコンで使えるメモリーかどうかを確認してください。

外部ディスプレイの接続

本機には、外部ディスプレイを接続するためのコネクターが装備されています。

1. **本機の外部ディスプレイ端子（）に、外部ディスプレイのケーブルを接続します。**

・外部ディスプレイを接続した場合Windowsのコントロールパネルの［画面］で、「ディスプレイの種類」の設定変更が必要なときがあります。
・本体ディスプレイと外部ディスプレイを同時表示する場合、接続する外部ディスプレイは、設定したデスクトップ領域（解像度）をサポートするものを使用してください。

Fn＋F5キーを1回押すごとに、次の順に映像の表示先が切り替わります。

おかしいなと思ったら

本機のご使用中にトラブルが発生したり、疑問に感じたことがあれば、あわてずに次の項目をチェックしながら対処してください。

まずはじめに

あわてて対処しないでください
トラブルが発生したと思ったら、パソコンをそのままの状態で1分くらい放置してください。
すぐに電源を切ったり、むやみにタッチパッドのボタンを押したり、キーボードのキーをたたいたりしないでください。

1 本書で該当する項目を探しましょう

☞「困ったときのチェックリスト」（47ページ）
本書に該当する項目があれば、本書の指示に従って解決してください。

2 オンライン情報から該当する項目を探しましょう

☞「パソコンで調べる」（45～46ページ）
本書以外にも、弊社Webサイト「オンラインサポート」や、Microsoft社のWebサイト「マイクロソフト サポート オンライン」に、トラブル解決のためのQ&Aが掲載されています。
Windows 7およびアプリケーションソフトのヘルプも活用してください。

3 パソコンを購入時の状態に戻しましょう

☞「リカバリーの準備」（54～70ページ）、「リカバリーの方法」（ユーザーズガイド❶）
本機をご購入時の状態に戻します。（この作業をリカバリーといいます）
リカバリーの前に、必要なデーターや設定情報のバックアップを取ってください。

4 オンキヨー/ソーテックカスタマーサポートセンターに連絡しましょう

以上の方法でどうしても解決できないときは、オンキヨー/ソーテックカスタマーサポートセンターに連絡してください。
お電話の前に、「ケア・シート」などをよくお読みになり、注意事項などを確認してください。

パソコンで調べる

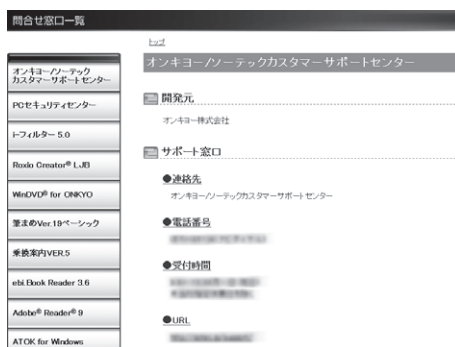
本書以外にも、次のWebサイトおよびヘルプをご参照ください。トラブル解決のための情報が提供されています。

■ ONKYO電子マニュアル
（デスクトップ画面上の［ONKYO電子マニュアル］アイコンをダブルクリック）

本機のマルチメディア機能の活用方法、およびWindows 7やインターネットの便利な使いかたを図解付きで説明しています。トラブルの解決方法および予防方法も説明しています。

■ ONKYO問合せ窓口一覧
（デスクトップ画面上の［ONKYO問合せ窓口一覧］アイコンをダブルクリック）

ONKYOへのお問い合わせ先、および各種アプリケーションソフトについてのお問い合わせ先を掲載しています。

■ マイクロソフト サポート オンライン
（http://support.microsoft.com/）

Windows固有の技術情報を中心に掲載されています。Windowsの不具合の修正プログラムも、このWebサイトからダウンロードできます。

■ オンラインサポート
（http://support.sotec.jp/）

弊社製品の仕様の公開や、オンキヨー/ソーテックカスタマーサポートセンターに寄せられる質問などを掲載しています。各製品のドライバーおよびプログラムも、このページからダウンロードできます。

■ ヘルプとサポート
（[スタート] ボタン→ [ヘルプとサポート]）

Windowsおよび本機に関して、知っておくと有用な情報を掲載しています。Windowsのトラブルシューティングおよびチュートリアルも利用できます。

困ったときのチェックリスト

トラブルが発生した、または発生したと思われた場合、次のチェックリストでパソコンの症状をチェックしてください。

1 パソコンの電源はONになりますか？

●ONになりません（☞48ページ）

ONになります

2 Windowsは起動しますか？

●セーフモードで起動します（☞49ページ）
●起動しません（☞48〜49ページ）

正常に起動します

3 Windowsの画面は表示されますか？

●表示されますが、正常ではありません（☞50〜51ページ）
●セーフモードで表示されます（☞49ページ）

正常に表示されます

4 タッチパッド・マウス・キーボードは正常ですか？

●正常ではありません（☞51〜53ページ）

正常に動作します

ONKYO電子マニュアルを起動して、その他の原因を確認してください。

よくある質問集

本機の使用中に遭遇する、よくある質問や問題をまとめました。オンキヨー/ソーテックカスタマーサポートセンターへお問い合わせいただく前に、確認してください。

パソコンを起動する前に

Q.1 海外のコンセントに接続して使用できるか

A. ・AC電源が100V～240Vまでの間であれば使用できます(プラグの形状が異なる場合、変換プラグが必要)。
ただし、日本国外で本機を使用される場合は、サポート対象外となります。

Q.2 電源スイッチを押しても動かない

A ・ACアダプターは正しく接続されていますか？
ACアダプターのプラグが本機と正しく接続されているか、ACアダプターの電源プラグが電源コンセントに正しく接続されているかをご確認ください。

・バッテリーは十分に充電されていますか？
ACアダプターを接続して、バッテリーを充電してからご使用ください。

・ACアダプターが故障している可能性があります。
他の電気製品を本機が接続されている電源コンセントに接続して、他の電気製品が動くかどうかご確認ください。他の電気製品が正常に動くようであれば、ACアダプターが故障している可能性があります。オンキヨー/ソーテックカスタマーサポートセンターへお問い合せください。

・本機が故障していることがあります。
オンキヨー/ソーテックカスタマーサポートセンターへお問い合せください。

Q.3 画面に何も表示されない

A ・本機の電源はONになっていますか？
本機の電源スイッチをONにしてください。

・表示モードの設定が外部ディスプレイになっており、外部ディスプレイの電源がOFFになっていませんか？
本機の電源をONにし直してから再度、外部ディスプレイの電源スイッチをONにしてください。

・起動およびスリープ/休止状態からの復帰に、時間がかかっている可能性があります。
HDD LEDが点滅している場合は、しばらくお待ちください。

Q.4 パソコンの電源をONにしたところ、黒い画面に英語の文字が表示され、Windowsが起動しない

A ・パソコンのシステムが不安定になっている可能性があります。
リカバリーを試してください。
ただし、リカバリーを実行すると、Windowsが工場出荷時の初期状態に戻り、お客様がハードディスクに保存されたデーターはすべて消去されてしまいます。
リカバリー方法は、ユーザーズガイド❶をご参照ください。
一部のアプリケーションについては、個別にインストールしていただく必要があります。

・これで回復できない場合は、ケーブルとハードディスクの物理的な接触不良の可能性もありますので、オンキヨー/ソーテックカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

Q.5 パソコンを起動したところ、「セーフモード」という文字が画面に表示され、通常よりも低い解像度で起動している

A ・この状態は誤動作ではなく、「セーフモード」というWindowsを正常な状態に戻すための診断モードです。
セーフモードで起動した場合、ドライバーや周辺機器との接続に問題があるか、何かの設定が壊れているかなどの原因が考えられます。セーフモードは、不具合の原因がどこにあるかを調べて、それを解消するための診断モードです。不具合がどこにあるかを調べるための最低限の操作のみをおこなうよう設定されています。

問題解決後(自動修復含む)、再起動すると通常どおりWindowsが起動します。

Q.6 周辺機器を取り付けたらWindowsが起動しない

A ・周辺機器のデバイスドライバーが原因で、Windowsが起動できなくなった可能性があります。
「セーフモード」でWindowsを起動して、トラブルの原因と思われるデバイスドライバーを無効にしてください。この方法でWindowsが正常に起動した場合、正しいデバイスドライバーをインストールするか、デバイスドライバー自体を削除する必要があります。
「セーフモード」でデバイスを無効にするには、次の操作に従って設定してください。

①本機の電源をONにして、「ONKYO」ロゴが表示されている間に[F8]キーを押します。
②[詳細ブートオプション]が表示されるので、「セーフモード」をキーボードで選択してください。
③ユーザー名を選択してください。セーフモードでWindowsが起動します。
④[スタート]ボタン→[コントロールパネル]→[システムとセキュリティ]を選択して、[デバイスマネージャー]をクリックします。
⑤【デバイスマネージャー】ダイアログを表示させ、追加した周辺機器の項目をダブルクリックして表示される【プロパティ】ダイアログで[ドライバー]タブをクリックしてください。

使用する
周辺機器を使用する
トラブルの対応

⑥ [無効] ボタンをクリックし、[はい] をクリックしてから、[OK] ボタンをクリックしてください。

Windowsを再起動すると、通常モードでWindowsが起動します。

・この方法でもWindowsが起動しない場合、本機の電源をOFFにしてから、新しく取り付けた周辺機器を外してください。

Q.7 終了できない

A ・電源スイッチを4秒以上押すことにより電源を切ることが可能です。
その際、必ずHDD LEDがついてないことをご確認ください。上記の方法で電源が切れない場合は、ACアダプターおよびバッテリーパックを抜いてください。

パソコンを使っていたら

■ 画面上のトラブル

Q.8 表示される日付や時刻が正しくない

A. ・日付や時刻が間違った設定になっていませんか？
Windowsのタスクバーの時刻をクリック→「日付と時刻の設定の変更」→［日付と時刻の変更］ボタンをクリックして【日付と時刻の設定】ダイアログを起動します。
【日付と時刻の設定】ダイアログで正しい日付や時刻を設定してください。

・本機に内蔵されている電池が切れている可能性があります。
マザーボードに取り付けられているリチウム電池の寿命は、平均2～3年です。本機の使用期間が2～3年経過していたら、オンキヨー/ソーテックカスタマーサポートセンターに修理依頼をおこなってください。

Q.9 日付の設定を変更しても元に戻ってしまう

A. ・電池容量切れになっている可能性があります。
日付設定などのバックアップ電源として内蔵電池を使用しています。この内蔵電池が容量不足になると、日付設定などのデーター保持ができなくなります。
電池は消耗品ですので、寿命があります。寿命についてはお客様のご使用状況により大きく異なりますが、平均2～3年です。本機の使用期間が2～3年経過していたら、オンキヨー/ソーテックカスタマーサポートセンターに修理依頼をおこなってください。

ディスプレイのトラブル

Q.10 いきなり画面が消えた

A. ・ディスプレイの電源が切れた可能性があります。
本機をしばらく操作せずにいると、画面表示が消える設定になっております。マウスやキーボードを動かしてください。

・スリープまたは休止状態に入った可能性があります。
画面表示が消えた後、さらに時間が経過すると、スリープモードになります。電源LEDが点滅している場合は、電源スイッチを押してください。

・ACアダプターのプラグが電源コンセントから外れていませんか？
コンセントまたはプラグを差し込みなおしてください。

・バッテリーが充電されていない可能性があります。
バッテリーを十分に充電してください。

Q.11 画面表示にムラがある

A. ・ディスプレイを見やすい角度に調整してください。
液晶ディスプレイは、周囲の温度などの影響によって表示が変わる特性があります。むらがあるのは故障ではありません。

タッチパッド、マウス、キーボードのトラブル

Q.12 マウスポインターが動作しない

A. ・市販のマウスやキーボードを接続した場合、接続ケーブルが外れている可能性があります。
接続ケーブルを正しく接続してください。それでも動かない場合は、本機を再起動してください。

・市販のマウスやキーボードを接続した場合、本機の電源をONにしたあとにマウスを接続している可能性があります。
一度パソコンの電源をOFFにしてマウスを接続した後、パソコンの電源をONにしてください。

・適正なマウスドライバーを使用していない可能性があります。
市販のマウスを使用する場合は、専用のマウスドライバーが必要なものがあります。使用するマウスに付属のマウスドライバーを正しくインストールしてください。

Q.13 キー入力中に突然カーソルが別の場所に移動してしまう

A. ・タッチパッドの表面付近では、小さな反動でもカーソルが移動してしまうことがあります。
親指がタッチパッドの表面付近にあるときなど、タッチパッドの表面のタッピング機能が反応することがあります。

Q.14 タッチパッドを使用したとき、マウスカーソルの動きが悪いことがある

A. ・タッチパッドの表面が埃や汗などによって汚れていると、このような現象が発生することがあります。
清潔な布などで、タッチパッドの表面の汚れをふき取ってからご使用ください。

Q.15 デバイスマネージャー上で日本語106(109) キーボードが、英語101(102) キーボードと表示されてしまう

A. ・この現象は、Windows 7のシステムがプラグアンドプレイでキーボードを認識する際に、英語101/102キーボードが指定されているために発生します。
回避策として、次の方法を試してください。デバイスマネージャーから、次の手順で日本語106/109キーボードに変更します。

①[スタート] ボタン→ [コントロールパネル] → [コンピューターの簡単操作] → [キーボードの動作の変更] を選択して【キーボードを使いやすくします】ダイアログを表示します。
②ダイアログ下部の「キーボード設定」をクリックして、【キーボードのプロパティ】ダイアログを表示します。
③[ハードウェア] タブを選択し「101/102英語キーボード」の項目をダブルクリックします。
④[設定の変更] ボタンをクリックします。
⑤[ドライバー] タブを選択し、[ドライバーの更新] を選択します。
⑥「コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します」を選択します。
⑦「コンピューター上のデバイスドライバーの一覧から選択します」を選択します。
⑧「互換性のあるハードウェアを表示」のチェックを外します。
⑨「モデル」欄から「標準PS/2キーボード」を選択して、[次へ] ボタンをクリックしてください。
⑩[閉じる] ボタンをクリックして、パソコンを再起動します。

Q.16 押したキーと違う文字が表示される

A. ・ CapsLock 、ひらがな/カタカナなどが間違って押されていませんか？
目的の文字がタイプされるようにCapsLock 、ひらがな/カタカナキーを押してください。

・キーボードのドライバーは適正なものですか？
キーボードのドライバーがお使いのキーボードに対応したものではない可能性があります。キーボードのドライバーを更新してください。

・NumロックLEDが点灯していますか？
NumロックLEDが点灯している時は、キーボードの一部がテンキーとして動作します。テンキー機能を使用しない時は、Fn＋NumLkキーを押し、ロック状態を解除してください。

Q.17 テンキーが入力できない

A ・テンキーが無効になっている可能性があります。
Fn＋NumLkキーを押し、テンキーを有効にします。

リカバリーの準備

使用していたデーターや設定内容をバックアップして、リカバリー後に同じ環境で使えるようにします。

リカバリーとは

リカバリーとは、ハードディスクの内容を一度消去し、工場出荷時の状態に戻すことです。Windowsのシステムが手作業では修復できない状態になったときや、システムの不具合の原因が特定できない場合などのときに、リカバリーをおこないます。

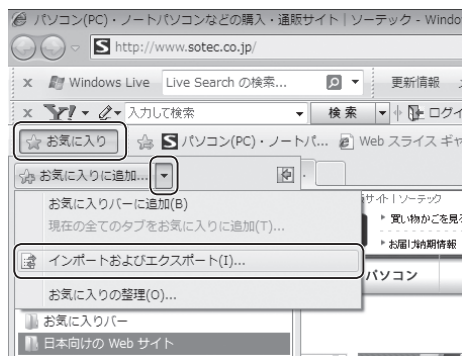
リカバリーをおこなう前に、ハードディスクのデーターを外部メディア（USBメモリー、CD-R/RW、DVD-R/RW、外付けHDDなど）に保存してください。リカバリー後に保存したデーターを戻すと、リカバリー前と同じ状態で本機を使うことができます。

本書では、リカバリーの実行前に、個人で作成したデーターをバックアップする方法と、リカバリー後にバックアップしたデーターを復元する方法を説明します。リカバリーの実行方法については、ユーザーズガイド❶をご参照ください。

データーのバックアップ

ここでは、Internet Explorerや電子メールの設定などのデーターを、外部メディアにバックアップする方法を説明しています。
お客様がデスクトップや「ドキュメント」フォルダーに保存したデーターについては、あらかじめ外部メディアに保存しておいてください。

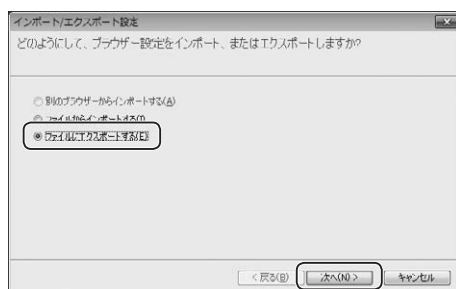
電子メールのデーターのバックアップについては、「Windows Liveメール」での方法を説明しています。その他のメーラーをご使用の場合、バックアップ方法はメーラーの取扱説明書などをご参照ください。

■『お気に入り』のバックアップ

Internet Explorerの『お気に入り』のバックアップを作成します。

1. **Internet Explorerが起動した状態で、［お気に入り］ボタンをクリックし、［お気に入りに追加...］の▼をクリックして表示されるメニューから［インポートおよびエクスポート］を選択します。**

【インポート/エクスポート設定】ダイアログが表示されます。

2. [ファイルにエクスポートする] を選択して、[次へ] ボタンをクリックします。

【何をエクスポートしますか？】ダイアログが表示されます。

3. [お気に入り] をチェックして、[次へ] ボタンをクリックします。

【お気に入りのエクスポート元フォルダーを選択】ダイアログが表示されます。

「フィード」「Cookie」をチェックすると、フィードとCookieをエクスポートできます。

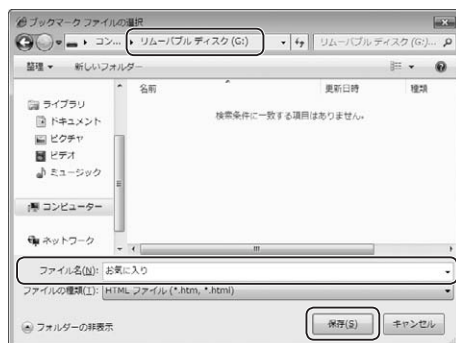
4. 「お気に入り」フォルダーを選択して、[次へ] ボタンをクリックします。

【どこにお気に入りをエクスポートしますか？】ダイアログが表示されます。

5. [参照] ボタンをクリックします。

【ブックマークファイルの選択】ダイアログが表示されます。

6. 任意のファイル名と外部記憶メディアの保存場所を設定して、[保存] ボタンをクリックします。

【どこにお気に入りをエクスポートしますか？】ダイアログに戻ります。

7. **［エクスポート］ボタンをクリックします。**

手順3で「フィード」および「Cookie」をチェックした場合、［次へ］ボタンをクリックしてください。
表示される画面の設定方法は、手順5〜6と同じです。

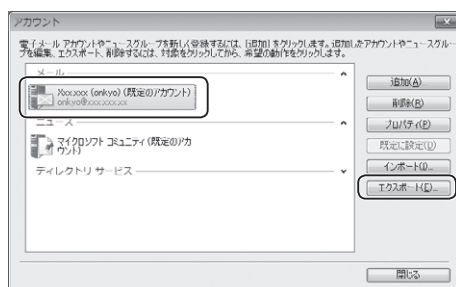
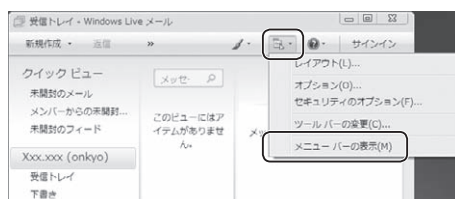
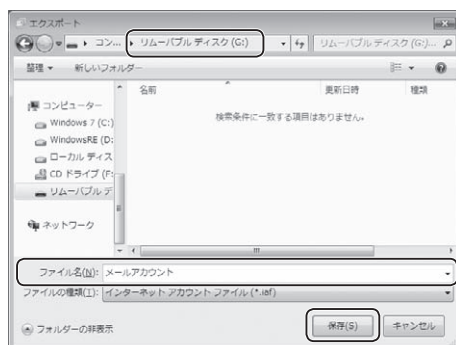
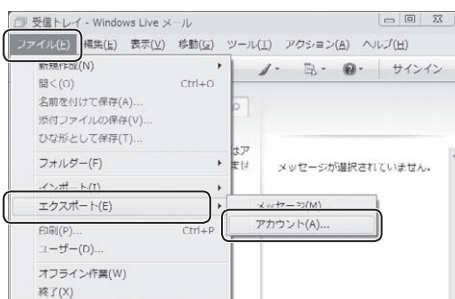
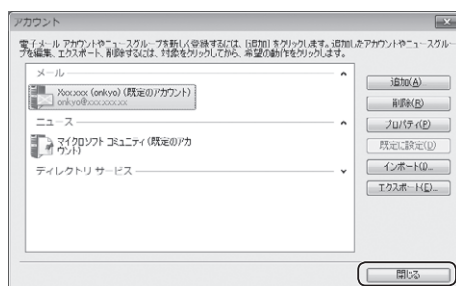
終了すると、【これらの設定を正しくエクスポートしました】ダイアログが表示されます。

8. **［完了］ボタンをクリックします。**

以上で『お気に入り』のバックアップは完了です。

■ メールアカウントのバックアップ

Windows Liveメールで設定している、メールアカウントのバックアップを作成します。

複数のユーザーでWindows 7を使用している場合は、ユーザーのアカウントごとにバックアップを作成してください。

1. **Windows Liveメールが起動した状態で、［メニュー］→［メニューバーの表示］を選択します。**
メニューバーが表示されます。

2. **［ファイル］→［エクスポート］→［アカウント］を選択します。**
【アカウント】ダイアログが表示されます。

3. 「メール」欄のアカウントを選択し、[エクスポート] ボタンをクリックします。

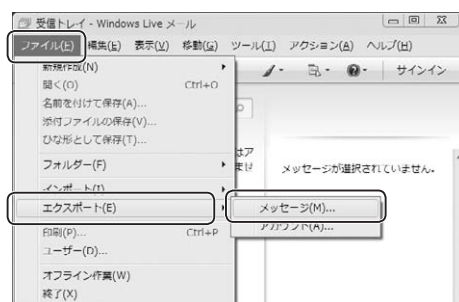
【エクスポート】ダイアログが表示されます。

4. 任意のファイル名と外部記憶メディアの保存場所を設定して、[保存] ボタンをクリックします。

【アカウント】ダイアログに戻ります。

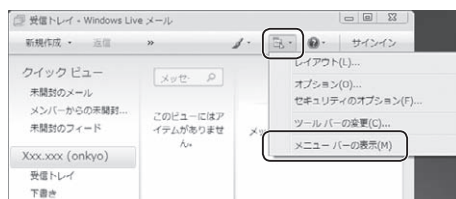
5. [閉じる] ボタンをクリックします。

以上でメールアカウントのバックアップは完了です。

■ メッセージのバックアップ

Windows Liveメールで送受信した、メッセージのバックアップを作成します。

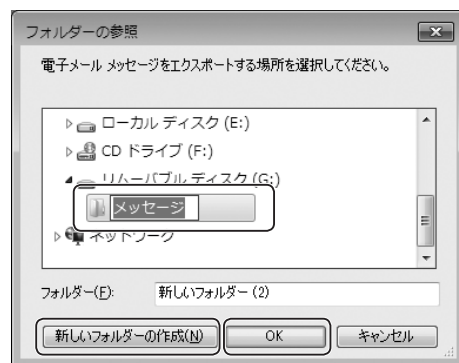
複数のユーザーでWindows 7を使用している場合は、ユーザーのアカウントごとにバックアップを作成してください。

1. Windows Liveメールが起動した状態で、[メニュー]→[メニューバーの表示] を選択します。

メニューバーが表示されます。

2. **［ファイル］→［エクスポート］→［メッセージ］を選択します。**

【プログラムの選択】ダイアログが表示されます。

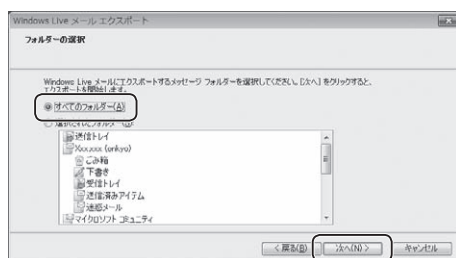
3. **一覧から［Microsoft Windows Liveメール］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。**

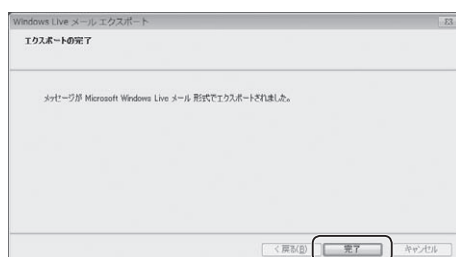
【メッセージの場所】ダイアログが表示されます。

4. **［参照］ボタンをクリックします。**

【電子メール メッセージをエクスポートする場所を選択してください。】ダイアログが表示されます。

5. **外部記憶メディアを選択し、［新しいフォルダーの作成］ボタンをクリックして、任意の名前でフォルダーを作成します。**

6. **作成したフォルダーを選択して、［OK］ボタンをクリックします。**

【メッセージの場所】ダイアログに戻ります。

7. **［次へ］ボタンをクリックします。**

【フォルダーの選択】ダイアログが表示されます。

8. **［すべてのフォルダー］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。**

メッセージのエクスポートが開始されます。
終了すると【エクスポートの完了】ダイアログが表示されます。

9. **［完了］ボタンをクリックします。**

以上でメッセージのバックアップ作成は完了です。

■ アドレス帳のバックアップ

Windows Liveメールで登録した、アドレス帳のバックアップを作成します。

複数のユーザーでWindows 7を使用している場合は、ユーザーのアカウントごとにバックアップを作成してください。

1. **アドレス帳が起動した状態で、［メニュー］→［エクスポート］→［カンマ区切り］を選択します。**

【CSVのエクスポート】ダイアログが表示されます。

2. **［参照］ボタンをクリックします。**

【名前を付けて保存】ダイアログが表示されます。

3. **任意のファイル名と外部記憶メディアの保存場所を設定して、[保存] ボタンをクリックします。**

【CSVのエクスポート】ダイアログに戻ります。

4. **[次へ] ボタンをクリックします。**

【エクスポートするフィールドを選択してください】ダイアログが表示されます。

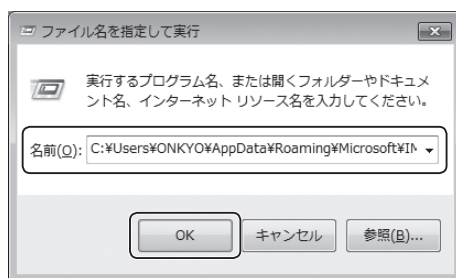
5. **エクスポートするフィールド（項目）にチェックをいれて、[完了] ボタンをクリックします。**

アドレス帳のエクスポートが開始されます。

エクスポートするフィールドを任意で選択することができます。
通常は、設定を変更する必要はありませんので、そのまま [完了] ボタンをクリックしてください。

■ ユーザー辞書のバックアップ

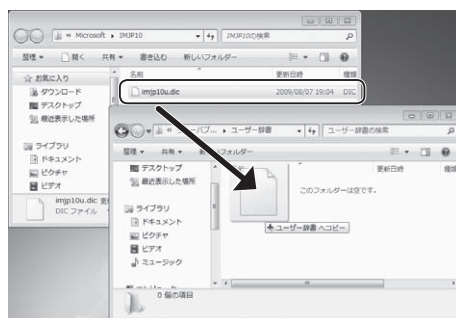
現在使用しているユーザー辞書は、次の手順でバックアップを作成します。

1. **[スタート] ボタン→[すべてのプログラム]→[アクセサリ] → [ファイル名を指定して実行] の順に選択します。**

【ファイル名を指定して実行】ダイアログが表示されます。

2. **[名前] 欄に [C：¥Users¥＊＊＊＊＊¥AppData¥Roaming¥Microsoft¥IMJP10] と入力して、[OK] ボタンをクリックします。**

（＊＊＊＊＊には、現在ログイン中のユーザー名が入ります。　例：「ONKYO」など）

【IMJP10】ウィンドウが表示されます。

・ユーザー辞書の保存先をほかの任意のフォルダーへ変更している場合は、変更先のフォルダーを開きます。
・ユーザー辞書の保存先は下記の方法で確認することができます。
言語バーのボタンをクリックして、表示されるメニューから [プロパティ] を選択します。
[辞書/学習] タブをクリックし、画面中段の [辞書名] に表示されているのが、ユーザー辞書の保存先です。

3. **[imjp10u] ファイルを、異なる任意のファイル名で外部記憶メディアに保存します。**

ファイル名は必ず変更してください。

以上でユーザー辞書のバックアップ作成は完了です。

以上のバックアップが終了すれば、リカバリーをおこなってください。リカバリーの方法は、ユーザーズガイド❶をご参照ください。

データーの復元

ここでは、リカバリー(☞ユーザーズガイド1) をおこなった後に、アプリケーションソフトや、「データーのバックアップ」(☞54～61ページ) で保存した各データーを復元する方法を説明しています。

■ アプリケーションソフトの設定

リカバリーをおこなうと、すべてのアプリケーションソフトは自動的に復元されます。必要に応じ、アプリケーションソフトを再インストールしてください。
本製品に付属のソフトウェアは、「ONKYO問合せ窓口一覧」の「※再セットアップについて」からインストールします。

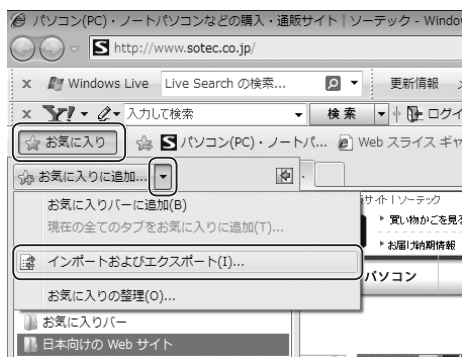
1. デスクトップにある、「ONKYO問合せ窓口一覧」アイコンをダブルクリックします。

【ONKYO問合せ窓口一覧】が起動します。

2. 左側の [※再セットアップについて] をクリックします。

3. 表示される一覧から、復元するアプリケーションソフトの横にある●をクリックします。

4. 画面の指示にしたがってインストールをおこないます。

本製品購入後にインストールしたアプリケーションソフトは、別途インストールしてください。

■ バックアップしたファイルを復元する

あらかじめ外部メディアに保存しておいた、デスクトップや「ドキュメント」フォルダーにあったデーターを、バックアップ前と同じ場所に戻してください。

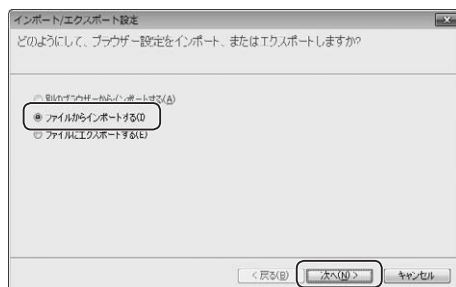
■『お気に入り』を元に戻す

Internet Explorerの『お気に入り』を復元します。

1. Internet Explorerが起動した状態で、[お気に入り] ボタンをクリックし、[お気に入りに追加...▼] の▼をクリックして表示されるメニューから [インポートおよびエクスポート] を選択します。

【インポート/エクスポート設定】ダイアログが表示されます。

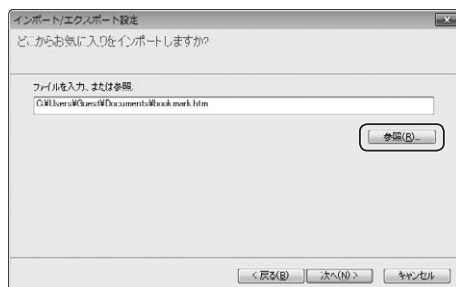
2. **［ファイルからインポートする］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。**

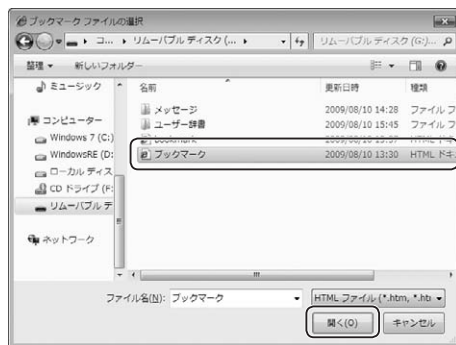
【何をインポートしますか？】ダイアログが表示されます。

3. **［お気に入り］をチェックして、［次へ］ボタンをクリックします。**

【どこからお気に入りをインポートしますか？】ダイアログが表示されます。

「フィード」「Cookie」をチェックすると、フィードとCookieをインポートできます。

4. **［参照］ボタンをクリックします。**

【ブックマークファイルの選択】ダイアログが表示されます。

5. **バックアップをとったお気に入りファイルを選択して、［開く］ボタンをクリックします。**

【どこからお気に入りをインポートしますか？】ダイアログに戻ります。

6. **［次へ］ボタンをクリックします。**

【お気に入りのインポート先フォルダーを選択】ダイアログが表示されます。

手順3で「フィード」および「Cookie」をチェックした場合、［次へ］ボタンをクリックしてください。
表示される画面の設定方法は、手順4〜6と同じです。

7. **「お気に入り」フォルダーを選択して、［インポート］ボタンをクリックします。**

終了すると、【これらの設定を正しくインポートしました】ダイアログが表示されます。

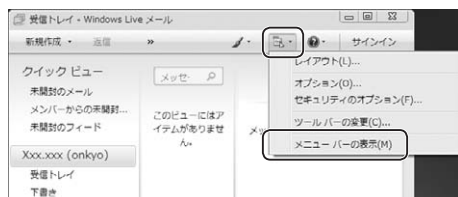
8. **［完了］ボタンをクリックします。**

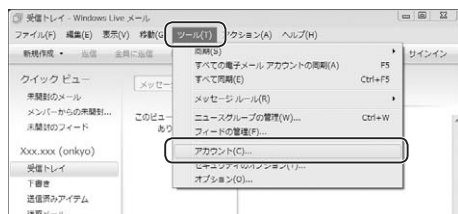
以上で『お気に入り』の復元は完了です。

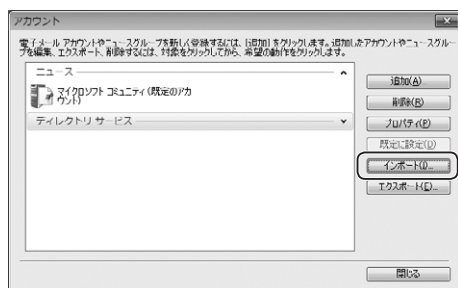
■メールアカウントの復元

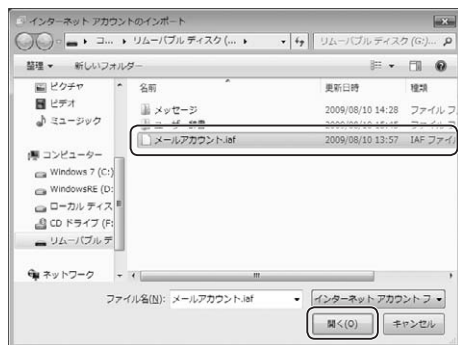
Windows Liveメールで設定している、メールアカウントを復元します。

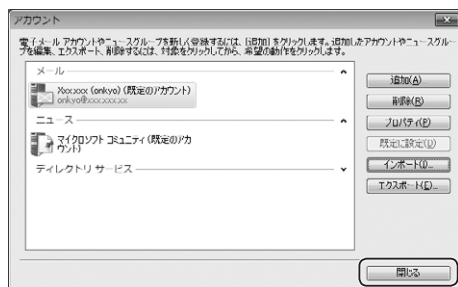
1. **Windows Liveメールが起動した状態で、[メニュー]→[メニューバーの表示]を選択します。**

メニューバーが表示されます。

2. **[ツール]→[アカウント]を選択します。**

【アカウント】ダイアログが表示されます。

3. **[インポート]ボタンをクリックします。**

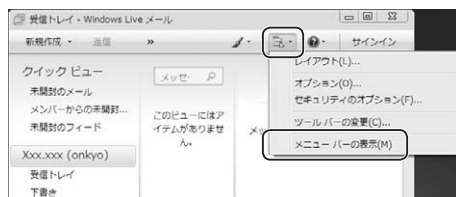
【インターネットアカウントのインポート】ダイアログが表示されます。

4. **バックアップをとったアカウントを選択して、[開く]ボタンをクリックします。**

【アカウント】ダイアログに戻ります。

5. **[閉じる]ボタンをクリックします。**

以上でメールアカウントの復元は完了です。

■ メッセージの復元

Windows Liveメールで送受信した、メッセージを復元します。

1. **Windows Liveメールが起動した状態で、[メニュー] → [メニューバーの表示] を選択します。**

メニューバーが表示されます。

2. **[ファイル] → [インポート] → [メッセージ] を選択します。**

【プログラムの選択】ダイアログが表示されます。

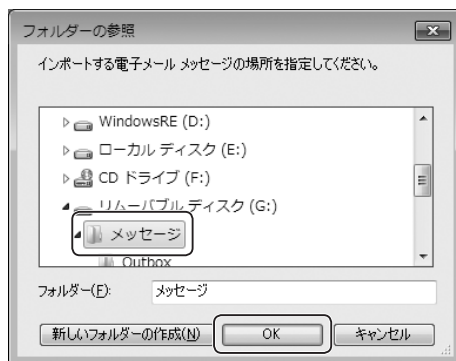
3. **一覧から [Microsoft Windows Liveメール] を選択して、[次へ] ボタンをクリックします。**

【メッセージの場所】ダイアログが表示されます。

4. **[参照] ボタンをクリックします。**

【インポートする電子メール メッセージの場所を指定してください。】ダイアログが表示されます。

5. **バックアップをとったメッセージを選択して、[OK] ボタンをクリックします。**

【メッセージの場所】ダイアログに戻ります。

6. ［次へ］ボタンをクリックします。

【フォルダーの選択】ダイアログが表示されます。

7. ［すべてのフォルダー］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

メッセージのインポートが開始されます。
終了すると【インポートの完了】ダイアログが表示されます。

8. ［完了］ボタンをクリックします。

以上でメッセージの復元は完了です。

■ アドレス帳の復元

Windows Liveメールで登録した、アドレス帳を復元します。

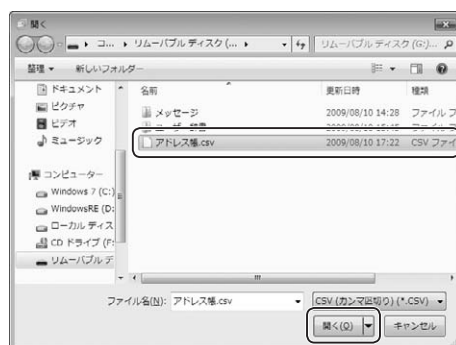
1. アドレスが起動した状態で、［メニュー］→［インポート］→［カンマ区切り］を選択します。

【CSVのインポート】ダイアログが表示されます。

2. ［参照］ボタンをクリックします。

【開く】ダイアログが表示されます。

3. **バックアップをとったアドレス帳を選択して、[開く] ボタンをクリックします。**

【CSVのインポート】ダイアログに戻ります。

4. **[次へ] ボタンをクリックします。**

【インポートするフィールドの割り当て】ダイアログが表示されます。

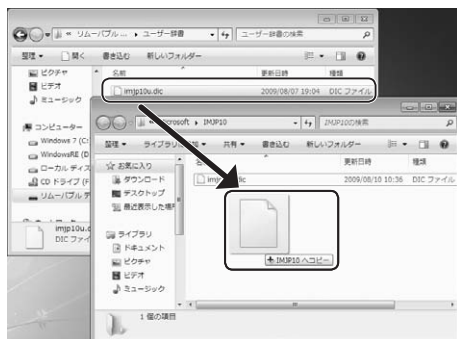
5. **インポートするフィールド (項目) にチェックをいれて、[完了] ボタンをクリックします。**

アドレス帳のインポートが開始されます。

インポートするフィールドを任意で選択することができます。
通常は、設定を変更する必要はありませんので、そのまま [完了] ボタンをクリックしてください。

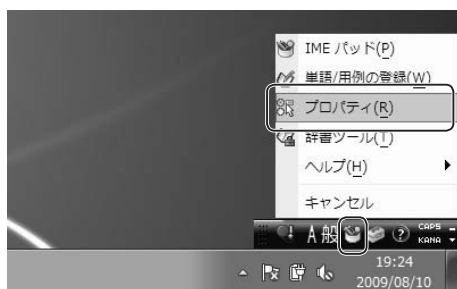
■ ユーザー辞書の復元

ユーザー辞書を、次の手順で復元します。

1. **[スタート] ボタン→[すべてのプログラム]→[アクセサリ] → [ファイル名を指定して実行] の順に選択します。**

【ファイル名を指定して実行】ダイアログが表示されます。

2. **[名前] 欄に [C：¥Users¥＊＊＊＊＊¥AppData¥Roaming¥Microsoft¥IMJP10] と入力して、[OK] ボタンをクリックします。**

（＊＊＊＊＊には、現在ログイン中のユーザー名が入ります。　例：「ONKYO」など）

【IMJP10】ウィンドウが表示されます。

3. **バックアップを取ったユーザー辞書ファイルを、【IMJP10】ウィンドウ内に移動します。**

4. **言語バーの をクリックして、表示されるメニューから [プロパティ] を選択します。**

【Microsoft IME のプロパティ】ダイアログが表示されます。

5. **[辞書/学習] タブをクリックします。**

6. **[ユーザー辞書] 欄の、[参照] ボタンをクリックします。**

【ユーザー辞書の設定】ダイアログが表示されます。

7. **手順3で【IMJP10】ウィンドウ内に移動したユーザー辞書ファイルを選択して、［開く］ボタンをクリックします。**

【Microsoft IME のプロパティ】ダイアログに戻ります。

8. **［OK］ボタンをクリックします。**

以上でバックアップの読み込みは完了です

BIOSを設定する

ここではBIOSの概要と、BIOSを設定するための「BIOSセットアップログラム」の操作方法について説明します。

BIOSとは

"BIOS"とは「Basic Input Output System」の略称で、パソコンを動作させるためのプログラムです。このBIOSの設定を正しくおこなうことで、パソコンの性能を正しく引き出すことができます。本機ではあらかじめ、最適の状態でBIOSが設定されています。ただし、本機の拡張などをおこなった際には、拡張する機器に合わせてBIOSの設定を変更する必要があります。

BIOSの設定は複雑で、誤った設定をしてしまうと、本機が正常に動かなくなる恐れがあります。特に理由もなくBIOSの設定を変更しないでください。

BIOSセットアッププログラムの起動方法

1. **本機の電源がOFFであることを確認したあと、電源をONにします。**

2. **"ONKYO"のロゴが入った画面が表示されたら、F2キーを押します。**

しばらくすると、セットアッププログラムの起動画面が表示されます。

※ロゴは、製品によって異なる場合があります。

- "ONKYO"ロゴが入った画面の表示中にEscキーを押すと、起動デバイスの選択画面が表示されます。
- BIOSの詳しい操作方法については、「ONKYO電子マニュアル」から「付属のマニュアル」→「BIOSセットアップマニュアル」を参照してください。

■ 項目の選択・設定の方法

BIOSセットアッププログラムは、次のキーを使って操作します。

キー	操作
←→キー	・メインメニューの項目を左右に移動する
↑↓キー	・項目を上下に移動する ・設定値を変更する
Enterキー	・サブメニューへ移動する ・項目選択時、別ウィンドウを開く/閉じる
Tabキー	・次項目へジャンプする
Escキー	・BIOSセットアッププログラムを終了する ・前メニューに戻る（サブメニューの場合） ・ウィンドウを閉じる（別ウィンドウが開いている場合）

索　引

ま

や

ら

わ

A

B

C

D

E

F

I

M

N

P

S

T

U

W

・本書の仕様、情報(本製品、ソフトウェアを含む)は予告なしに変更される場合があります。本製品ならびに、ソフトウェア、マニュアルを運用した結果については、いっさいの責任を負いかねますのでご了承ください。
・本書で紹介されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに供給されています。
ソフトウェアおよびそのマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約にもとづき、同意書記載の管理責任者のもとでのみ使用することができます。よって、それ以外の目的で当該ソフトウェア供給会社の承諾なしに無断で使用することはできません。
・本製品にあらかじめインストールされているWindows 7以外のOSについては、サポートの範囲外とさせていただきますので、ご了承ください。
・本書のすべての内容は著作権法によって保護されています。オンキヨー株式会社の許可なしに、本書の内容の一部または全部を無断で複写、転載することを禁じます。
・本製品で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。
・本製品は、人命にかかわる設備や機器(医療機器、原子力設備に関連する機器、航空宇宙機器、運輸設備に関連する機器など)や、高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの使用や組み込みを目的として設計されていません。
これら設備や機器、制御システムなどに本製品を使用された場合、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。

R/DRユーザーズガイド2　2009年10月 初版

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日：　　　年　　月　　日

ご購入店名：

Tel.　　　(　　)

メモ：

オンキヨー株式会社

本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

http://www.jp.onkyo.com/

P0910-1

DC01-N1066-02A